

第 2 次あま市総合計画策定等に関する  
アンケート調査  
調査結果

令和 2 年 12 月現在

あ ま 市



# 目次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査方法・期間・回収結果	1
4 回収結果	1
5 報告書の見方	1
II 調査結果	2
1 あなた自身について（回答者の属性）	2
2 現在のあま市について	6
3 市の現状評価と今後の重視する取り組み	9
（1）重点エリアにおける経年比較分析	10
（2）推進エリアにおける経年比較分析	11
（3）促進エリアにおける経年比較分析	12
（4）継続エリアにおける経年比較分析	13
4 あま市の将来像について	15
5 土地利用について	16
6 都市の基盤整備について	18
7 市の印象（イメージ）について	20
8 防災について	21
9 生活環境について	22
10 健康、保健、医療、福祉について	23
11 生涯学習、教育環境について	24
12 産業振興について	25
13 市政、行財政について	26
14 地域活動の参加希望について	27
15 新型コロナウイルス感染症について	30
16 S D G s について	31
17 自由意見	32



# I 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、第2次あま市総合計画の策定にあたり、市民の意識を再確認し、「第2次あま市総合計画」の策定と今後のまちづくりの参考とするためアンケート調査を実施しました。

## 2 調査対象

本調査の対象者は、あま市在住の18歳以上の市民の方から3,000人を対象に無作為に抽出しました。

## 3 調査方法・期間・回収結果

調査方法	郵送配布・回収
調査期間	令和2年10月23日～11月8日

## 4 回収結果

配付数 (A)	回収数 (=C+D)	有効回収数 (C)	無効回収数 (D)	有効回収率 (=C/A)
3,000	1,176	1,176	0	39.2%

※有効回収数は、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数。

## 5 報告書の見方

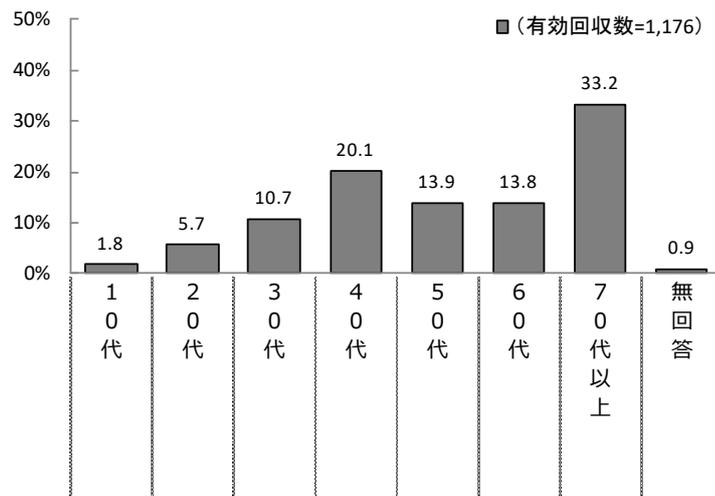
- (1)比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100%にならないこともあります。
- (2)回答率(%)は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- (3)複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は100%を超える場合があります。
- (4)本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

## Ⅱ 調査結果

### 1 あなた自身について（回答者の属性）

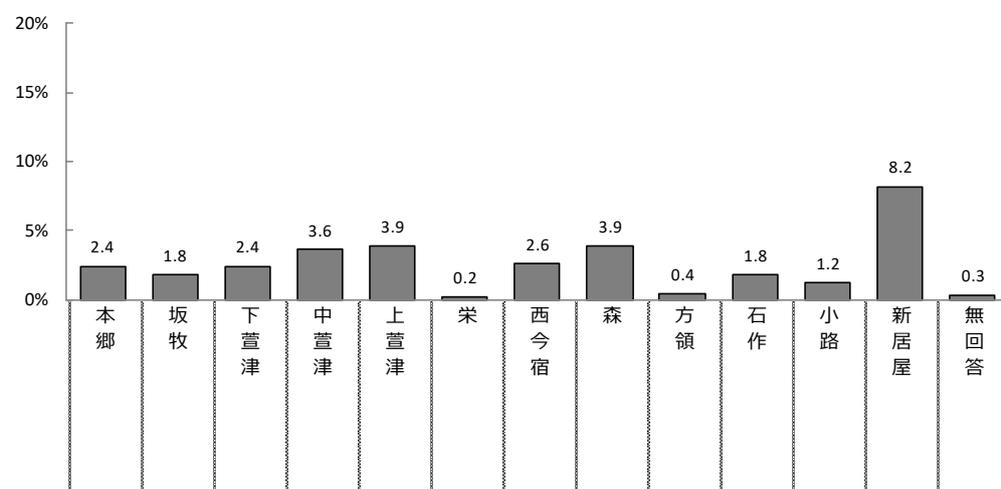
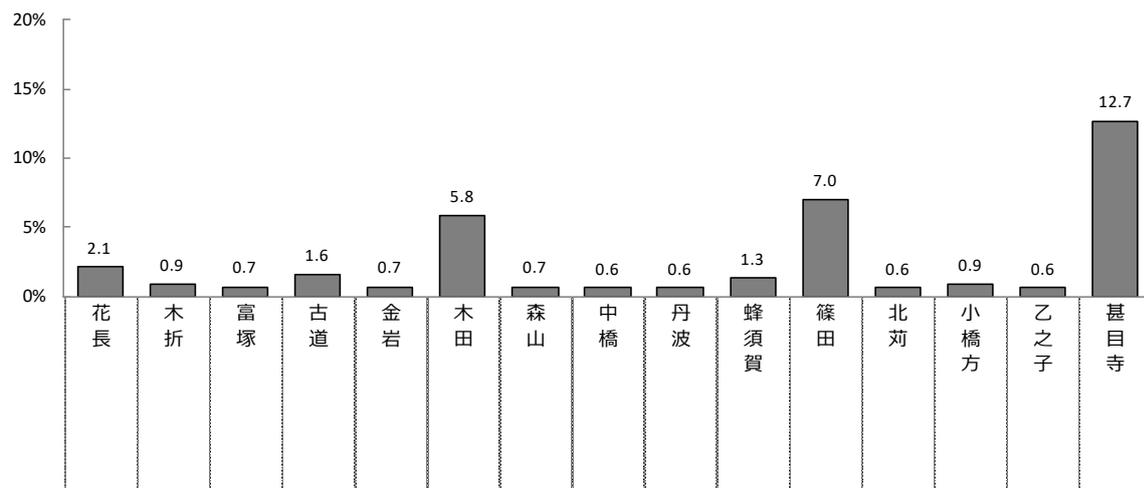
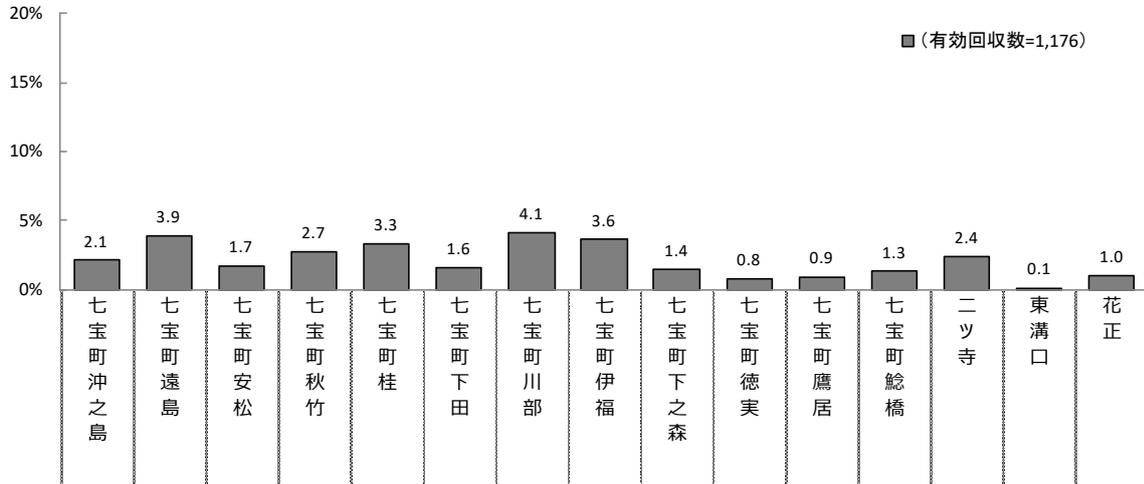
#### 問1 あなたの年齢は、次のうちどれですか。（○は1つだけ）

回答者の年齢は、「70代以上」が33.2%と最も多く、次いで「40代」が20.1%、「50代」が13.9%、「60代」が13.8%となっています。



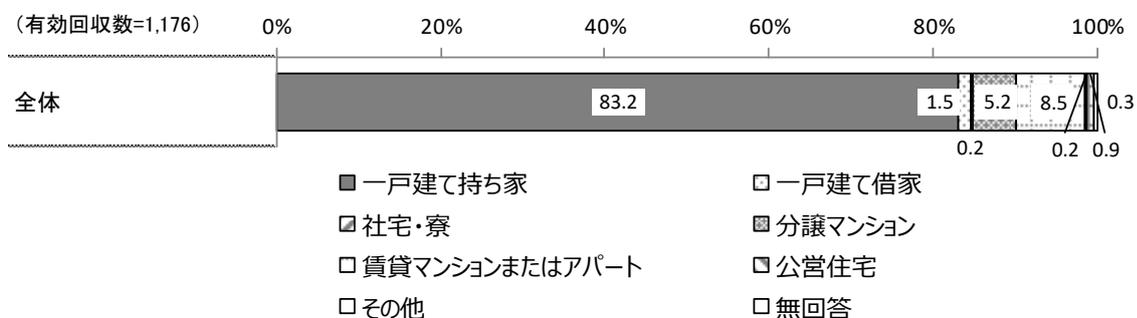
## 問2 あなたはどの地区にお住まいですか。(〇は1つだけ)

回答者の居住地区は、「碓目寺」が12.7%と最も多く、次いで「新居屋」が8.2%、「篠田」が7.0%、「木田」が5.8%となっています。



### 問3 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(○は1つだけ)

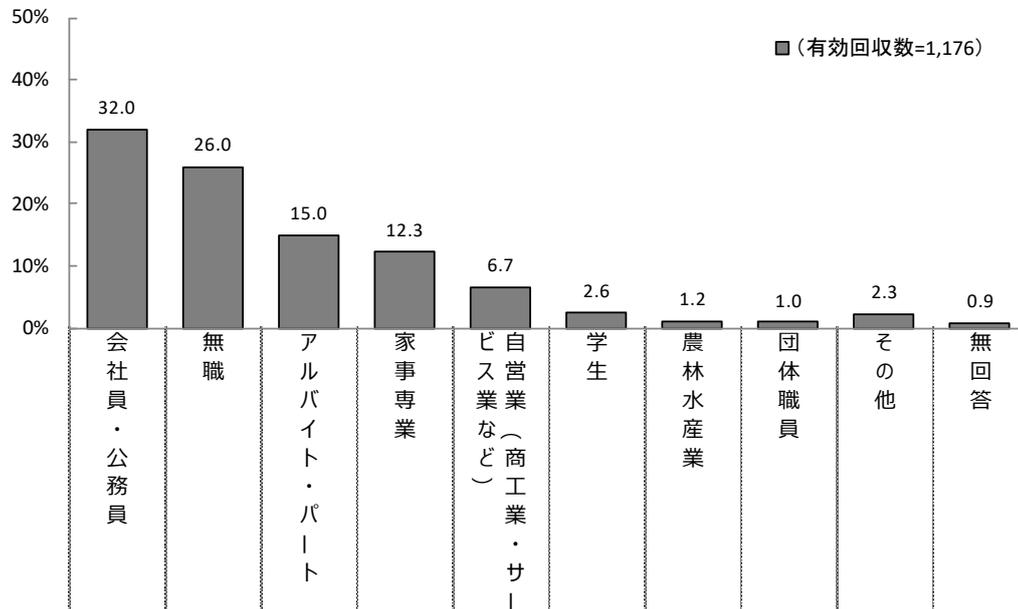
回答者の住まいは、「一戸建て持ち家」が83.2%と最も多く、次いで「賃貸マンションまたはアパート」が8.5%、「分譲マンション」が5.2%となっています。



### 問4 あなたの職業はどれにあたりますか。

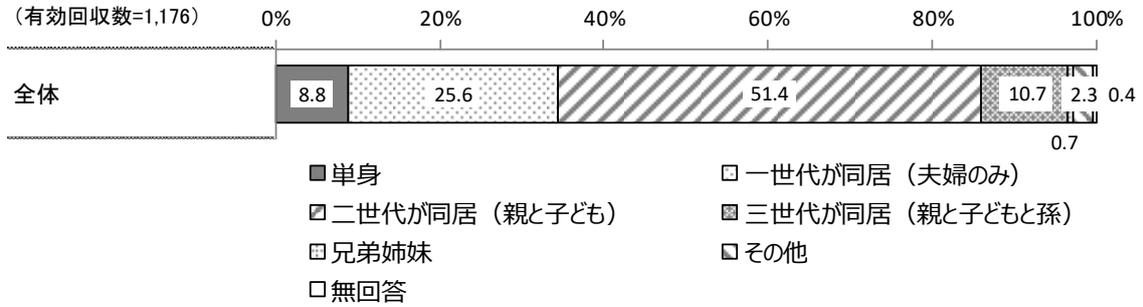
(兼業の方は主な職業を1つ選んでください。(○は1つだけ))

回答者の職業は、「会社員・公務員」が32.0%と最も多く、次いで「無職」が26.0%、「アルバイト・パート」が15.0%となっています。



**問5 家族構成を教えてください。(〇は1つだけ)**

回答者の家族構成は、「二世世代が同居（親と子ども）」が 51.4%と最も多く、次いで「一世代が同居（夫婦のみ）」が 25.6%、「三世世代が同居（親と子どもと孫）」が 10.7%、「単身」が 8.8%となっています。

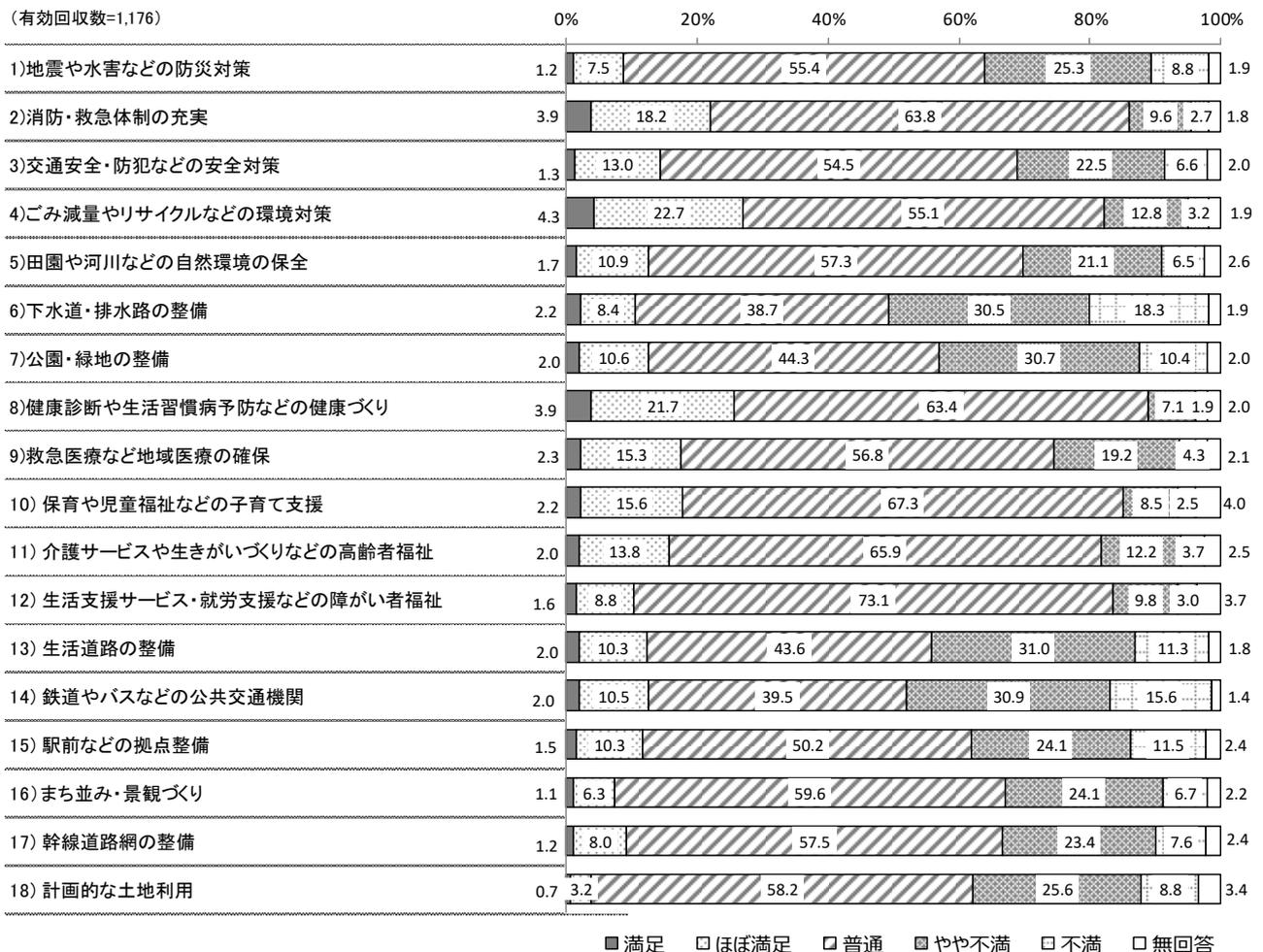


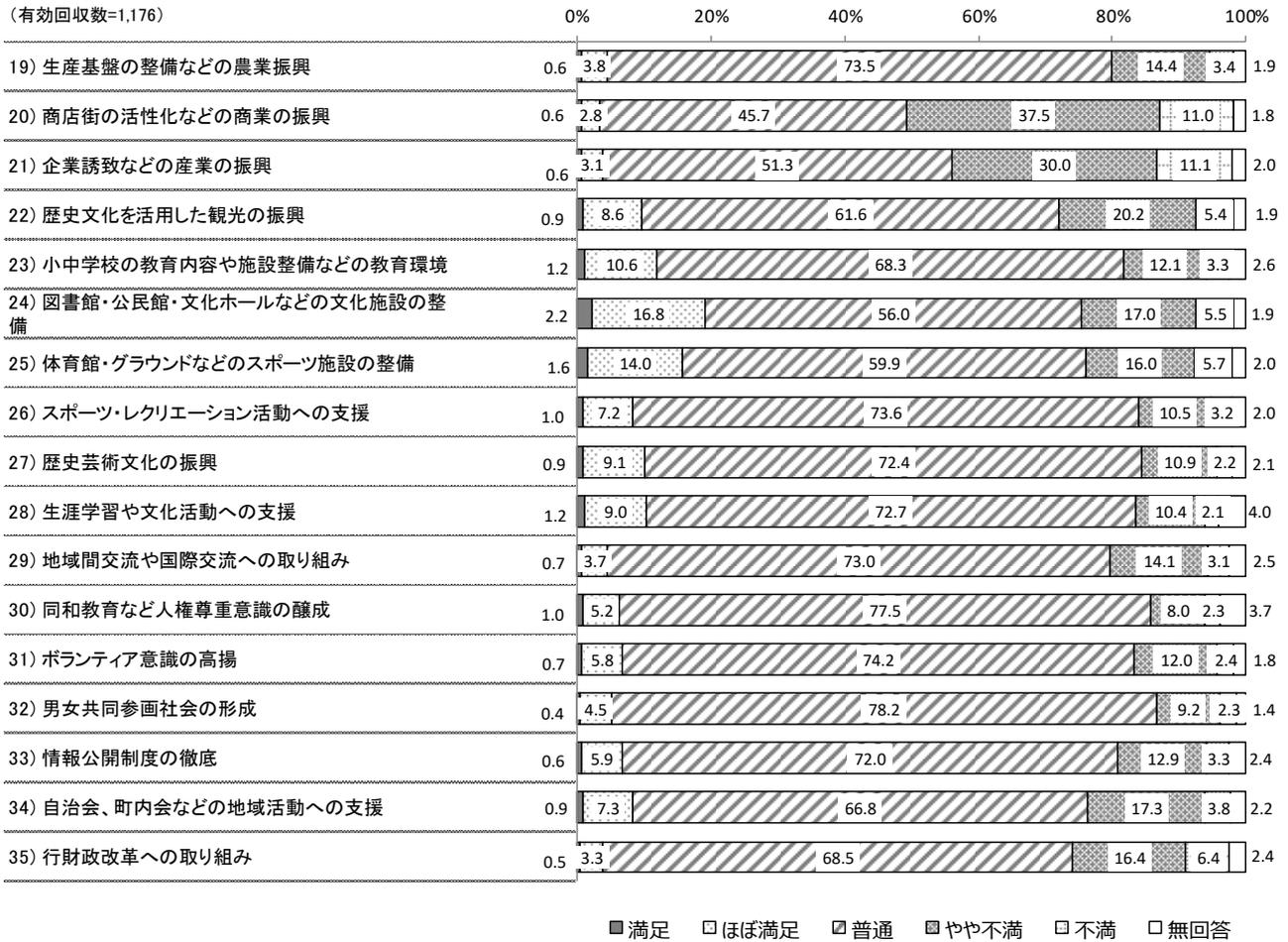
## 2 現在のあま市について

### 問6 現在のまちづくりについて、どの程度満足されていますか。 (それぞれの項目について〇は1つだけ)

現在のまちづくりの満足度については、満足意識が（「満足」+「ほぼ満足」）が高かった項目は、「4）ごみ減量やリサイクルなどの環境対策」（27.0%）、「8）健康診断や生活習慣病予防などの健康づくり」（25.6%）、「2）消防・救急体制の充実」（22.1%）などとなっています。

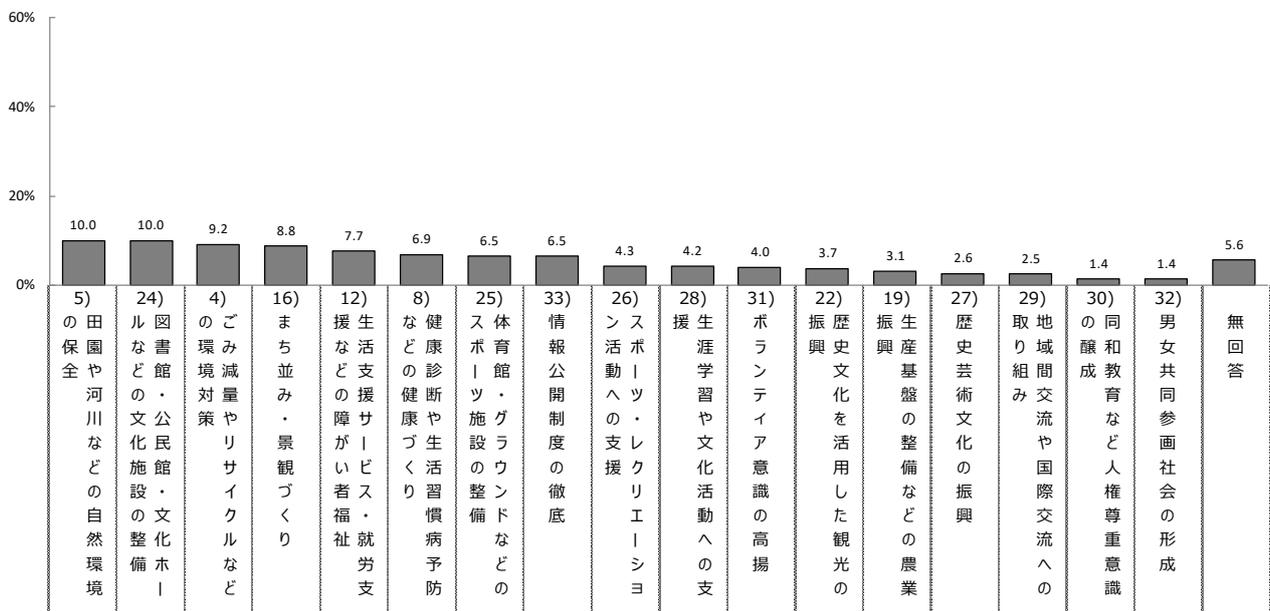
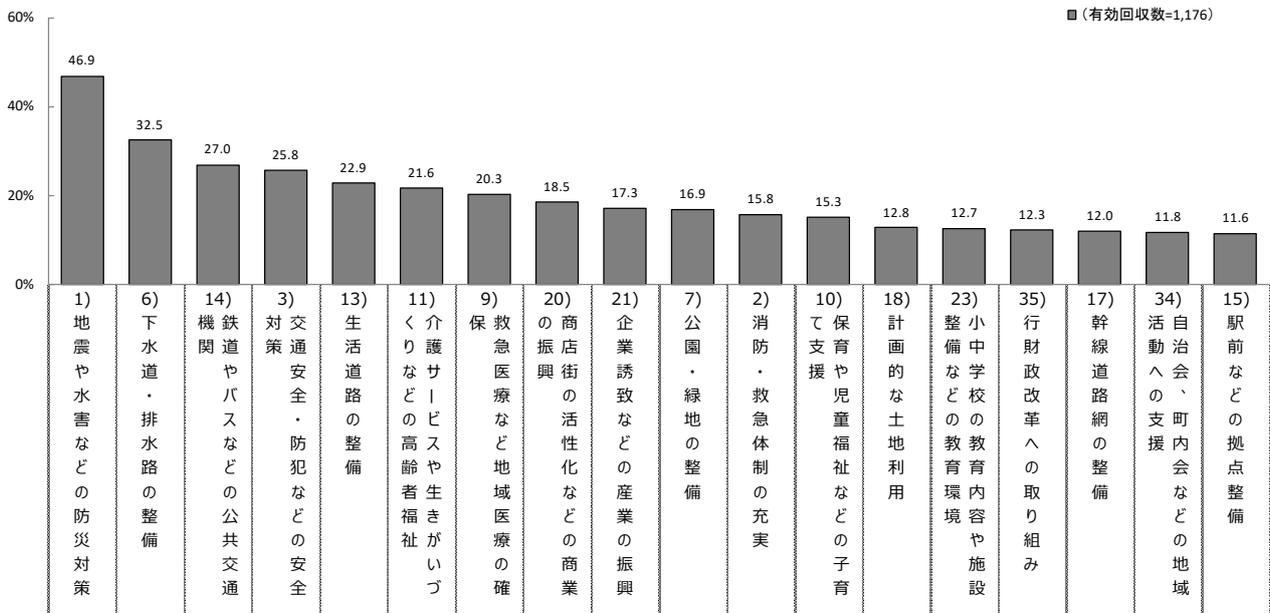
一方で、不満意識（「不満」+「やや不満」）が高かった項目は、「6）下水道・排水路の整備」が48.8%と最も多く、次いで「20）商店街の活性化などの商業の振興」（48.5%）、「14）鉄道やバスなどの公共交通機関」（46.5%）、「13）生活道路の整備」（42.3%）、「7）公園・緑地の整備」「21）企業誘致などの産業の振興」（41.1%）など、6項目で40%を超えています。





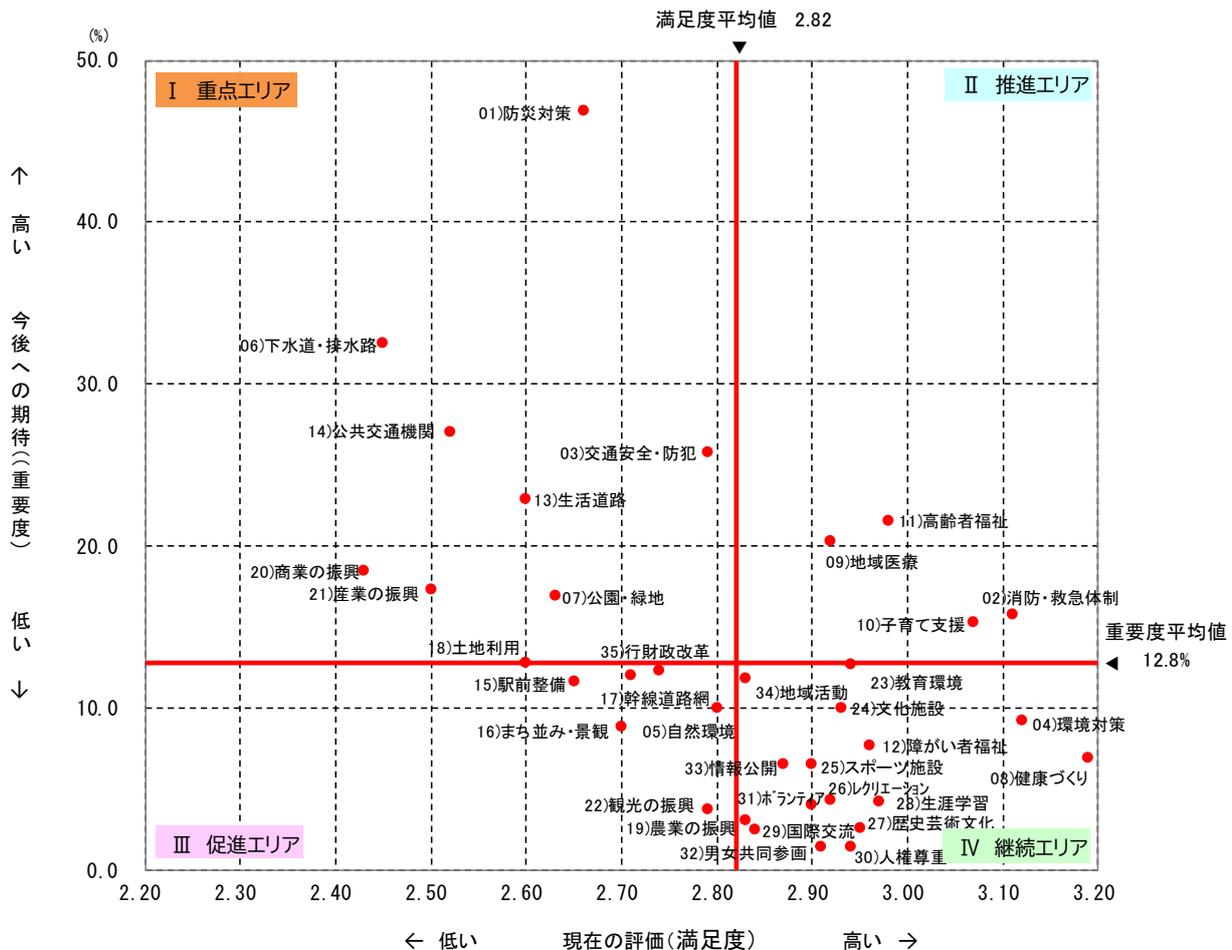
**問7 今後のまちづくりに関してあなたが重要だと考える項目はどれですか。前述の問6の項目1～35から5つまで選び、その項目番号を下記回答欄にご記入ください。**

今後のまちづくりに関して重要だと考える項目については、「1)地震や水害などの防災対策」が46.9%と最も多く、次いで、「6)下水道・排水路の整備」が32.5%、「14)鉄道やバスなどの公共交通機関」が27.0%、「3)交通安全・防犯などの安全対策」が25.8%となっています。



### 3 市の現状評価と今後の重視する取り組み

現在（令和2年11月の住民意向調査実施時）のまちづくりにおいて、重要度が高いにも関わらず、満足度が低い傾向がある項目として、「01 地震や水害などの防災対策」などの安全・安心に関する項目や、「03 交通安全・防犯などの安全対策」などの項目が挙げられています。また、「06 下水道・排水路の整備」「14 鉄道やバスなどの公共交通機関」「20 商店街の活性化などの商業の振興」など、居住環境やまちの活力に関わる項目が挙げられています。



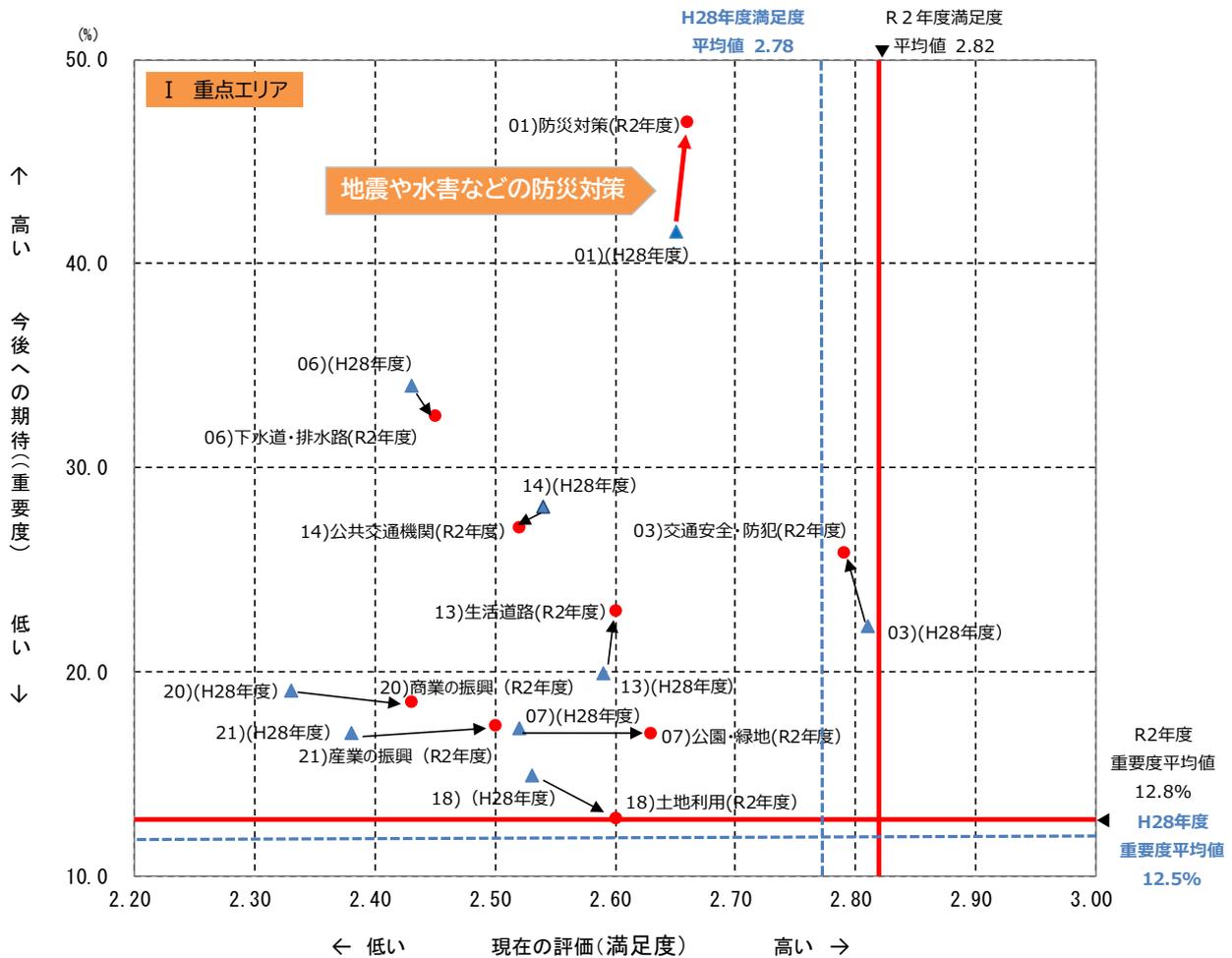
※満足度については、1人1項目あたりの満足度のポイント全体の平均を算出し、それぞれの評価の指標とします。算出された平均ポイントは、5に近いほど満足であることを表し、1に近いほど不満であることを表しています。重要度については、問7で回答された項目の構成比を指標とします。

満足度ポイント = 「満足」の回答者 × (5点) + 「ほぼ満足」の回答者 × (4点) + 「普通」の回答者 × (3点) + 「やや不満」の回答者 × (2点) + 「不満」の回答者 × (1点) ÷ 総回答者数

エリア	内容
I 重点エリア	重要度は高いが、満足度は低い ⇒特に取り組むべき施策の分野
II 推進エリア	重要度が高く、満足度も高い ⇒引き続き推進して取り組む施策の分野
III 促進エリア	重要度が低く、満足度も低い ⇒施策についての理解を促進していく分野
IV 継続エリア	重要度は低く、満足度が高い ⇒現在の施策に継続して取り組む分野

(1) 重点エリアにおける経年比較分析

重点エリアの項目については、重要度が高く、満足度が低いことから、特に重点的に取り組む必要があります。重点エリアの項目のうち、「01 地震や水害などの防災対策」については、H28 年度調査に比べ満足度に変化はみられず、より重要度が高まっていることから、本市の最重要課題と位置づけ、最優先で取り組みを進めていく必要があります。また、「03 交通安全・防犯」についても前回調査時は「促進エリア」に位置していたものの、満足度が減少したことにより、「重点エリア」に移行していることから、さらに取り組みを進めていく必要があります。その他の項目についても重要度が平均値よりも高く、満足度が平均値よりも低い重点エリアにある項目であることから改善の必要性が高い項目と考えられます。

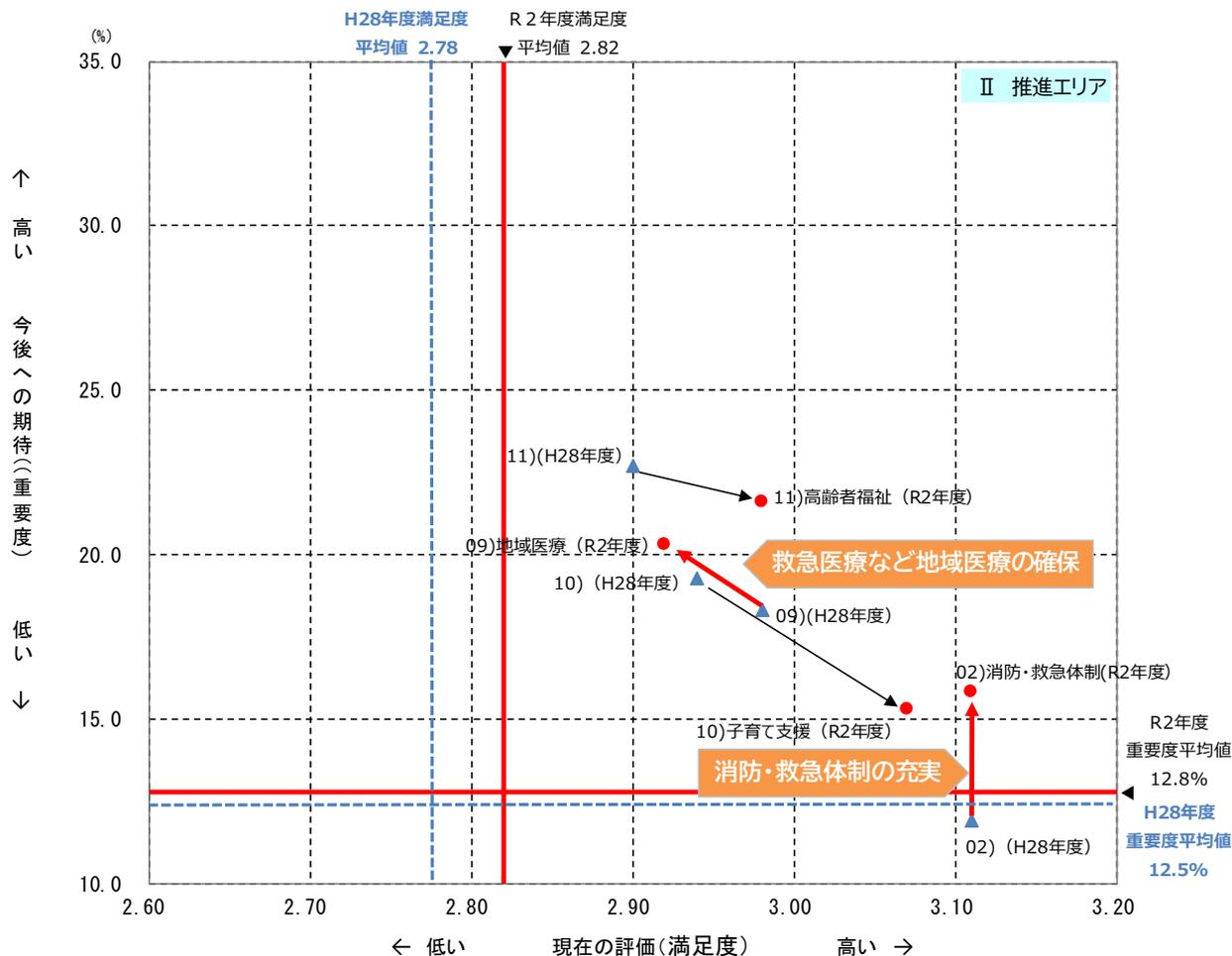


【重点エリアに該当する項目】

項目	満足度		満足度の差	重要度		重要度の差
	R2	H28		R2	H28	
01)地震や水害などの防災対策	2.66	2.65	0.01	46.9	41.6	5.3
03)交通安全・防犯などの安全対策	2.79	2.81	-0.02	25.8	22.2	3.6
06)下水道・排水路の整備	2.45	2.43	0.02	32.5	34.0	-1.5
07)公園・緑地の整備	2.63	2.52	0.11	16.9	17.2	-0.3
13)生活道路の整備	2.60	2.59	0.01	22.9	19.9	3.0
14)鉄道やバスなどの公共交通機関	2.52	2.54	-0.02	27.0	28.1	-1.1
18) 計画的な土地利用	2.60	2.53	0.07	12.8	14.9	-2.1
20) 商店街の活性化などの商業の振興	2.43	2.33	0.10	18.5	19.1	-0.6
21) 企業誘致などの産業の振興	2.50	2.38	0.12	17.3	17.0	0.3

## (2) 推進エリアにおける経年比較分析

推進エリアの項目については、重要度・満足度ともに高いことから、市の施策の強みとして引き続き推進して取り組む必要があります。「09 救急医療など地域医療の確保」については前回調査時に比べて満足度が減少し、重要度が増加したことから、優先的に取り組むべき施策と考えられます。また、「02 消防・救急体制の充実」についても前回調査時は「継続エリア」に位置していたものの、重要度が増加したことにより、「推進エリア」に移行していることから、引き続き現在の取り組みを推進していく必要があります。

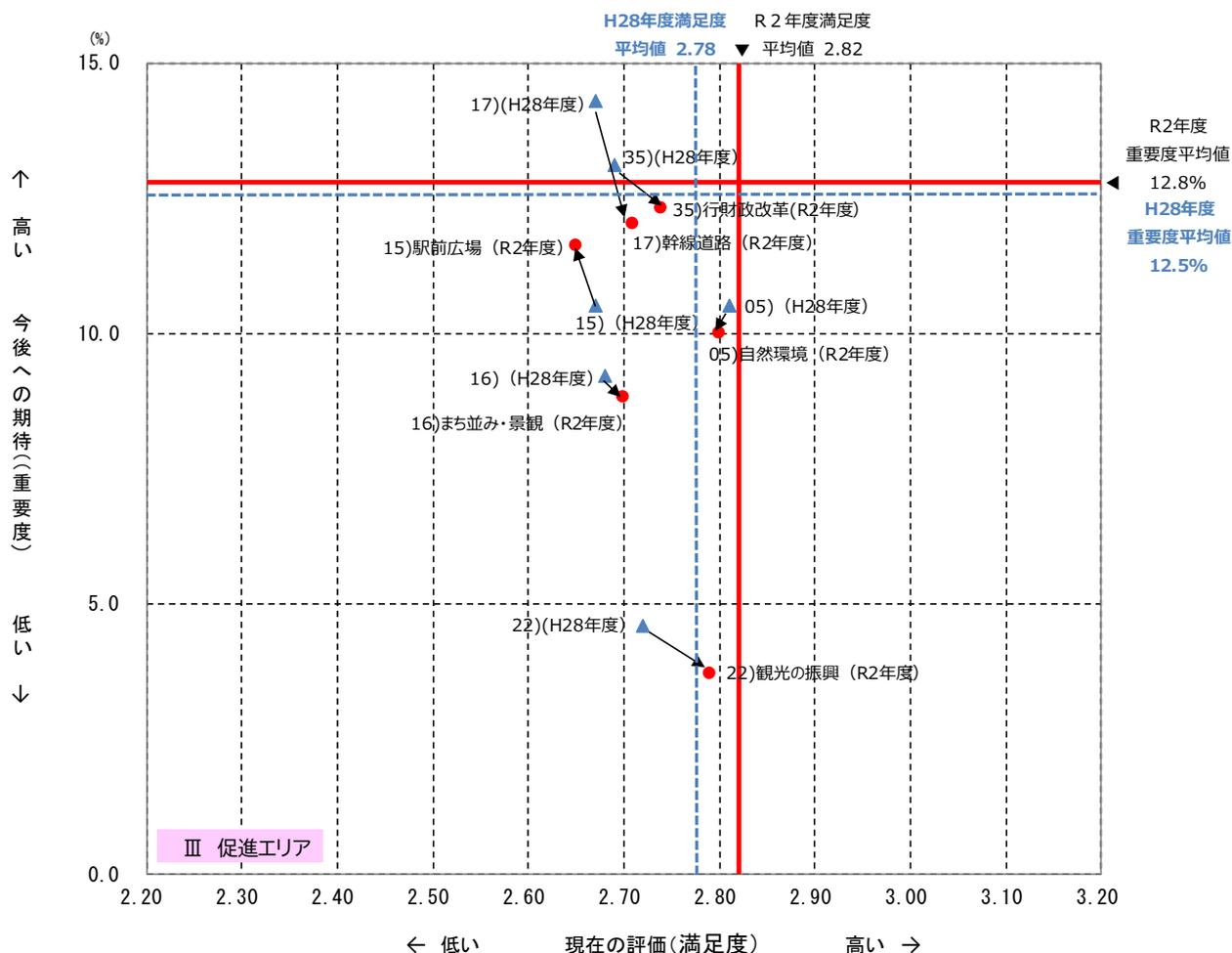


### 【推進エリアに該当する項目】

項目	満足度		満足度の差	重要度		重要度の差
	R2	H28		R2	H28	
02)消防・救急体制の充実	3.11	3.11	0.00	15.8	11.9	3.9
09)救急医療など地域医療の確保	2.92	2.98	-0.06	20.3	18.3	2.0
10) 保育や児童福祉などの子育て支援	3.07	2.94	0.13	15.3	19.3	-4.0
11) 介護サービスや生きがいづくりなどの高齢者福祉	2.98	2.9	0.08	21.6	22.7	-1.1

### (3) 促進エリアにおける経年比較分析

促進エリアの項目については、施策の重要性について市民の理解を促進していく必要があります。促進エリアの項目は、概ね前回調査から満足度が増加しており、重要度も減少しています。「17 幹線道路網の整備」や「35 行財政改革への取り組み」については、前回調査時は「重点エリア」に位置していたものの、重要度が減少して、「促進エリア」に移行していることから施策の取り組みの効果を検証するとともに、市民の理解を促進していく必要があります。

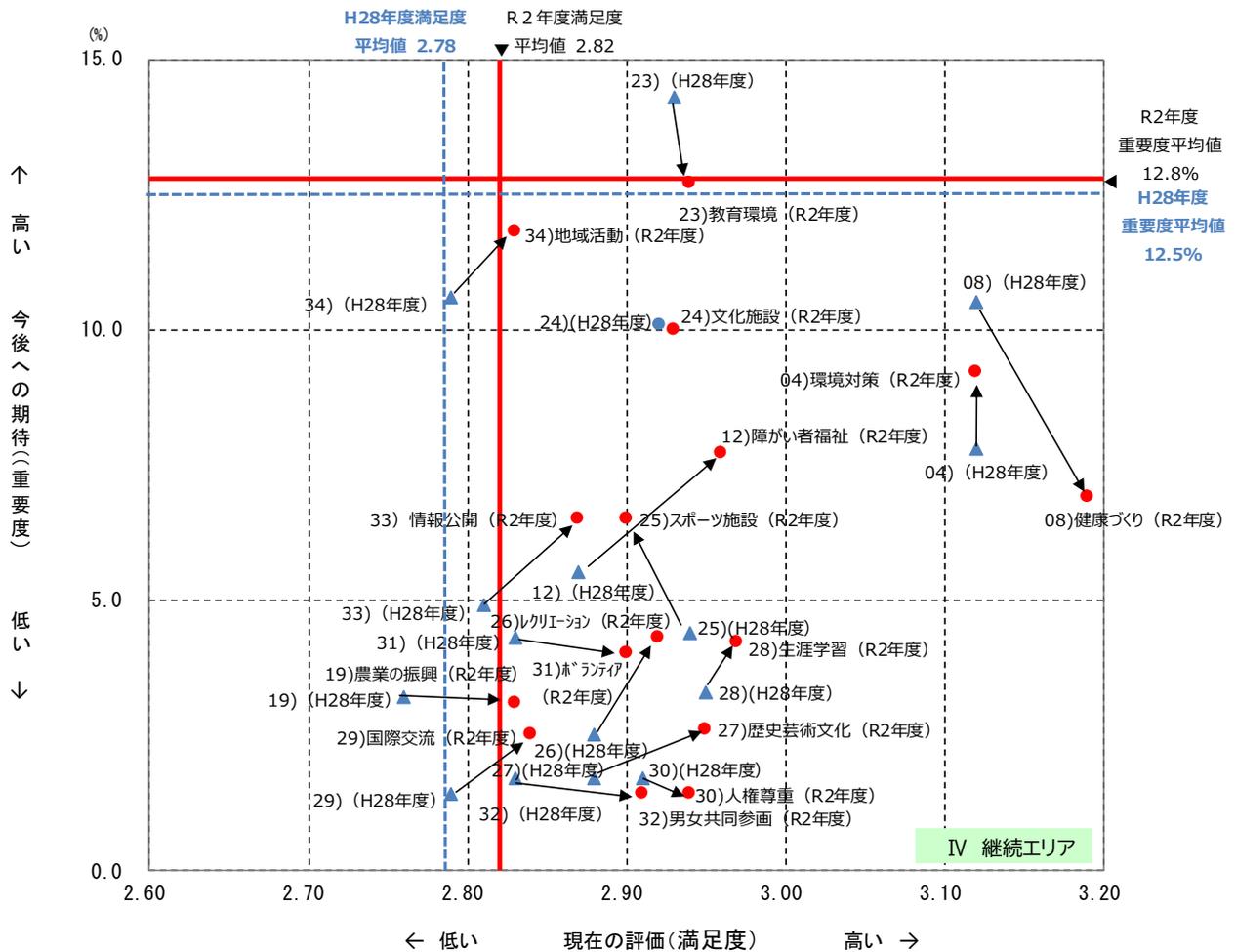


#### 【促進エリアに該当する項目】

項目	満足度		満足度の差	重要度		重要度の差
	R2	H28		R2	H28	
05) 田園や河川などの自然環境の保全	2.80	2.81	-0.01	10.0	10.5	-0.5
15) 駅前などの拠点整備	2.65	2.67	-0.02	11.6	10.5	1.1
16) まち並み・景観づくり	2.70	2.68	0.02	8.8	9.2	-0.4
17) 幹線道路網の整備	2.71	2.67	0.04	12.0	14.3	-2.3
22) 歴史文化を活用した観光の振興	2.79	2.72	0.07	3.7	4.6	-0.9
35) 行財政改革への取り組み	2.74	2.69	0.05	12.3	13.1	-0.8

#### (4) 継続エリアにおける経年比較分析

継続エリアの項目については、重要度が低いものの、満足度は高いことから、現在の施策を継続して取り組むことが必要です。継続エリアの項目のうち、「25 体育館・グラウンドなどのスポーツ施設の整備」以外は、前回調査から満足度が増加しています。また、「23 小中学校の教育内容や施設整備などの教育環境」「19 生産基盤の整備などの農業振興」については、前回調査時は「推進エリア」や「促進エリア」に位置していたものの、満足度が増加もしくは重要度が減少したことから「継続エリア」に移行しています。しかしながら、いずれも「推進エリア」や「促進エリア」付近に位置するため、市民の理解・協力を促進しながら継続していくことが必要です。

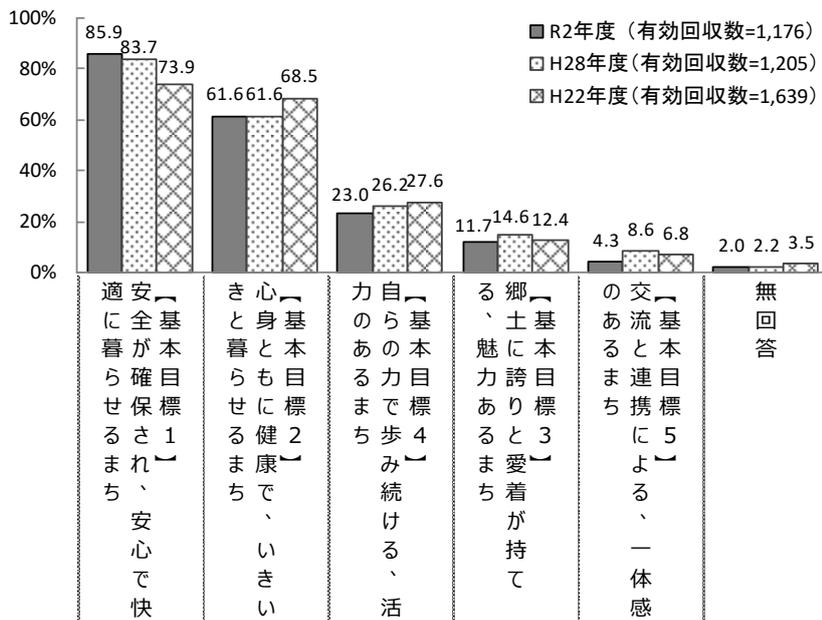


項目	満足度		満足度の差	重要度		重要度の差
	R2	H28		R2	H28	
04)ごみ減量やリサイクルなどの環境対策	3.12	3.12	0.00	9.2	7.8	1.4
08)健康診断や生活習慣病予防などの健康づくり	3.19	3.12	0.07	6.9	10.5	-3.6
12) 生活支援サービス・就労支援などの障がい者福祉	2.96	2.87	0.09	7.7	5.5	2.2
19) 生産基盤の整備などの農業振興	2.83	2.76	0.07	3.1	3.2	-0.1
23) 小中学校の教育内容や施設整備などの教育環境	2.94	2.93	0.01	12.7	14.3	-1.6
24) 図書館・公民館・文化ホールなどの文化施設の整備	2.93	2.92	0.01	10.0	10.1	-0.1
25) 体育館・グラウンドなどのスポーツ施設の整備	2.90	2.94	-0.04	6.5	4.4	2.1
26) スポーツ・レクリエーション活動への支援	2.92	2.88	0.04	4.3	2.5	1.8
27) 歴史芸術文化の振興	2.95	2.88	0.07	2.6	4.6	-2.0
28) 生涯学習や文化活動への支援	2.97	2.95	0.02	4.2	3.3	0.9
29) 地域間交流や国際交流への取り組み	2.84	2.79	0.05	2.5	1.4	1.1
30) 同和教育など人権尊重意識の醸成	2.94	2.91	0.03	1.4	1.7	-0.3
31) ボランティア意識の高揚	2.90	2.83	0.07	4.0	4.3	-0.3
32) 男女共同参画社会の形成	2.91	2.83	0.08	1.4	1.7	-0.3
33) 情報公開制度の徹底	2.87	2.81	0.06	6.5	4.9	1.6
34) 自治会、町内会などの地域活動への支援	2.83	2.79	0.04	11.8	10.6	1.2

#### 4 あま市の将来像について

**問8 第1次あま市総合計画では、以下の基本目標を掲げていました。この中で、どの目標に今後一層、力を入れて取り組んでいくべきだと思いますか。**  
**(主なもの2つまで○)**

今後一層、力を入れて取り組んでいくべきと思う基本項目については、R2年度では「安全が確保され、安心して快適に暮らせるまち」が85.9%と最も多くなっており、H28年度と比較して2.2ポイント増加しています。また、H22年度からの10年間では12.0ポイント増加しています。

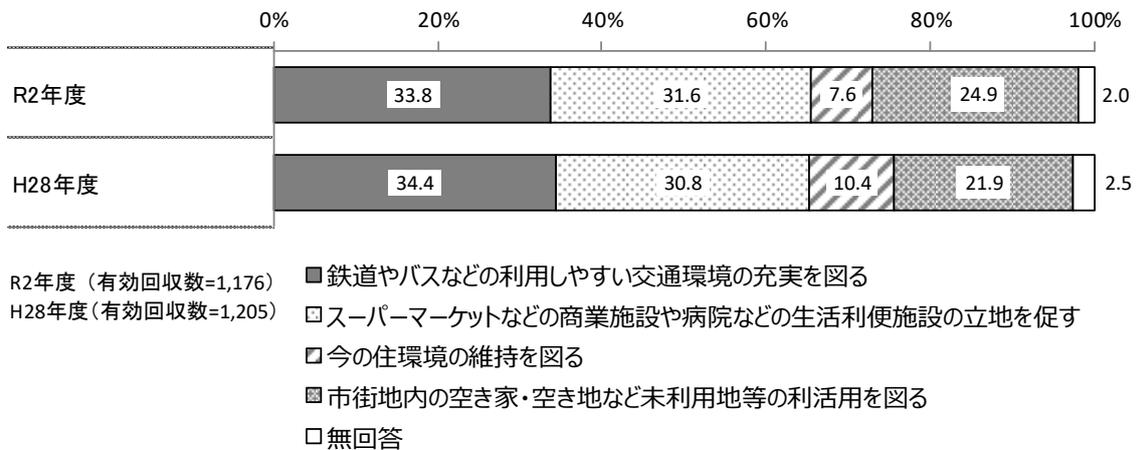


## 5 土地利用について

**問9 あま市全体の土地利用について、何を重点的に進めていくことが望ましいと思いますか。次に示すそれぞれの項目ごとにお答えください。**

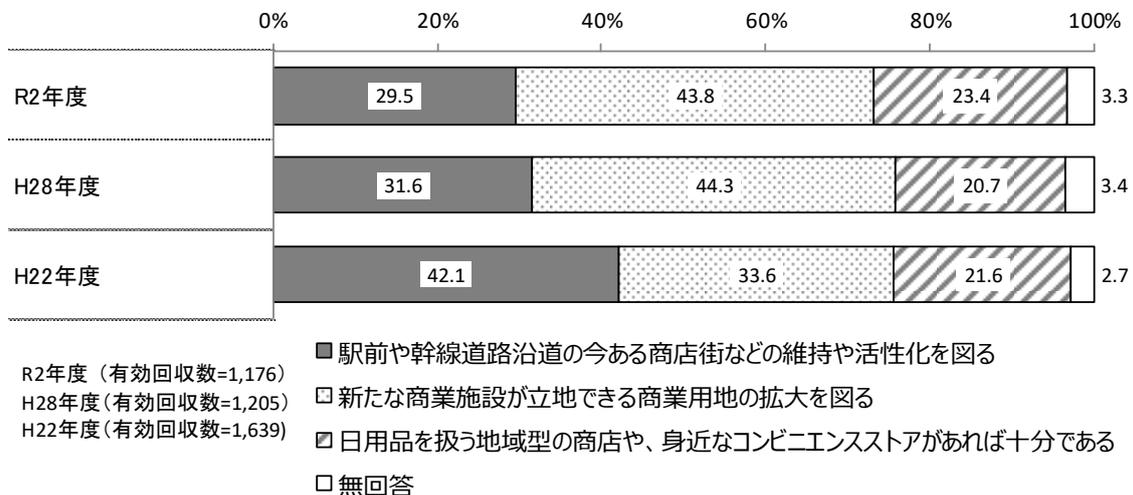
### (1) 住宅地の土地利用について (○は1つだけ)

R2年度においても「鉄道やバスなどの利用しやすい交通環境の充実を図る」「スーパーマーケットなどの商業施設や病院などの生活利便施設の立地を促す」の上位2項目の順位に変化はないものの、「市街地内の空き家・空き地がなど未利用地等の利活用を図る」が24.9%とH28年度に比べて3.0ポイント増加しています。



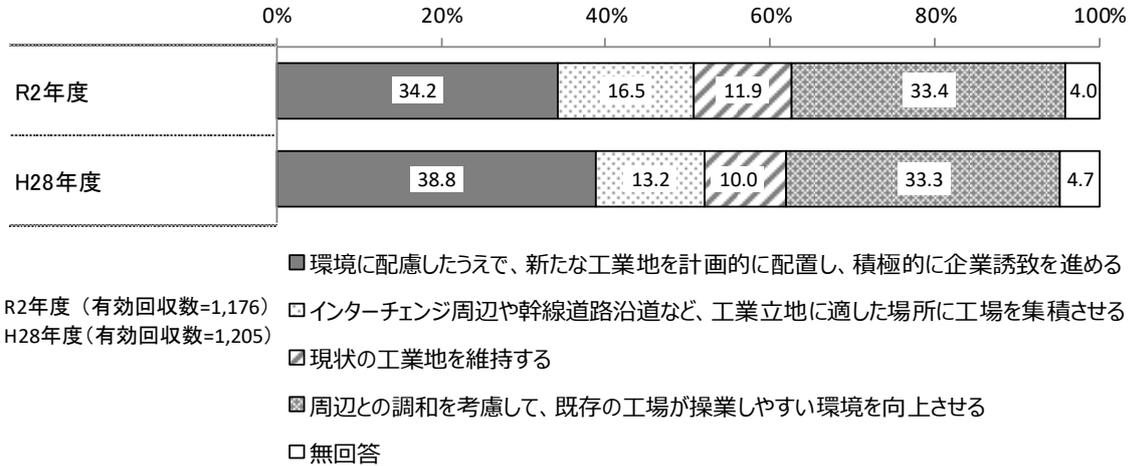
### (2) 商業地の土地利用について (○は1つだけ)

R2年度は「日用品を扱う地域型の商店や、身近なコンビニエンスストアがあれば十分である」が23.4%とH28年度に比べて2.7ポイント増加しています。また、「新たな商業施設が立地できる商業用地の拡大を図る」はH22年度からの10年間では10.2ポイント増加しているのに対し、「駅前や幹線道路沿道の今ある商店街などの維持や活性化を図る」は12.6ポイント減少しています。



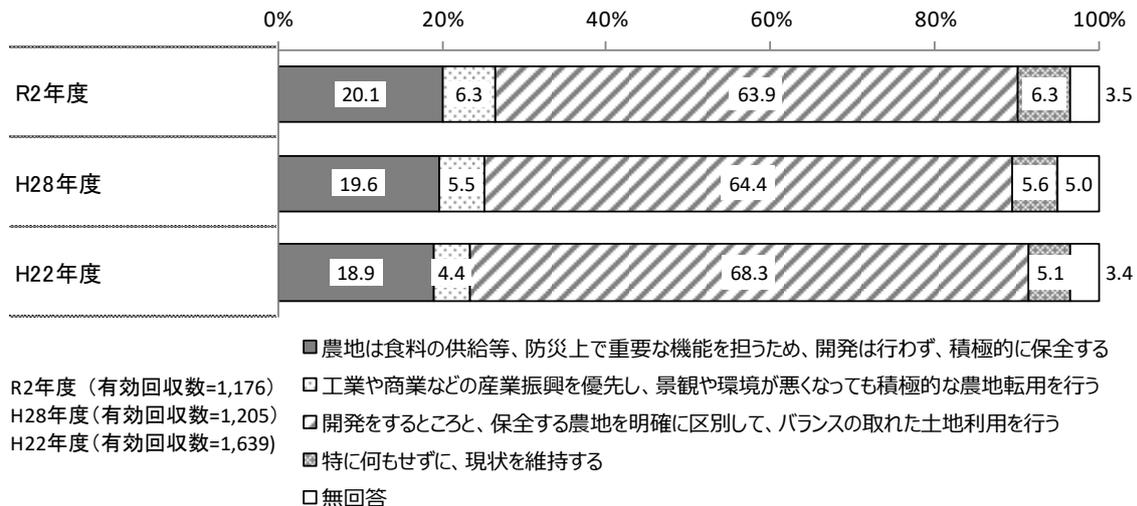
### (3) 工業地の土地利用について (〇は1つだけ)

R2年度は「環境に配慮したうえで、新たな工業地を計画的に配置し、積極的に企業誘致を進める」が34.2%とH28年度に比べて4.6ポイント減少しているのに対し、「インターチェンジ周辺や幹線道路沿道など、工業立地に適した場所に工場を集積させる」は3.3ポイント増加しています。



### (4) 農地などについて (〇は1つだけ)

いずれの調査時においても、「開発をすところと、保全する農地を明確に区別して、バランスの取れた土地利用を行う」が6割を超え最も高くなっており、特に大きな変化は見られません。

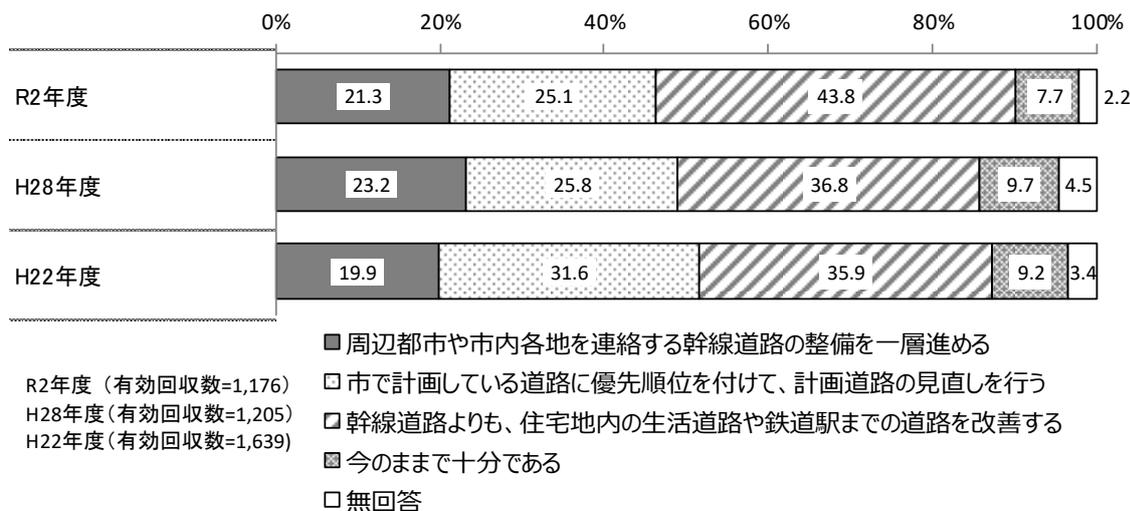


## 6 都市の基盤整備について

問 10 これからのあま市のまちづくりについて、何が重要だと思いますか。次に示すそれぞれの分野ごとにお答えください。

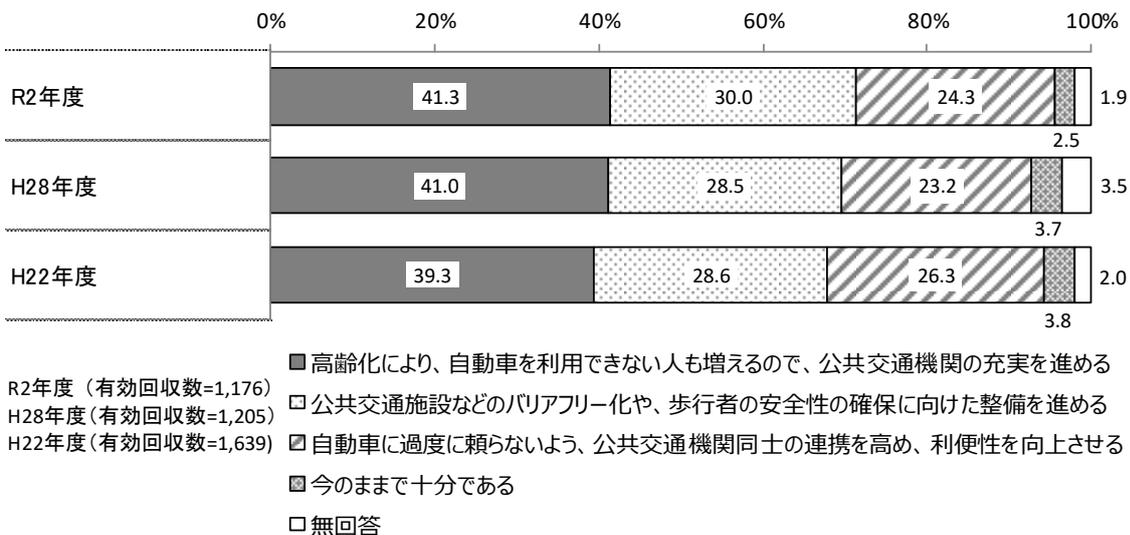
### (1) 道路などの整備について (○は1つだけ)

R2年度は「幹線道路よりも、住宅地内の生活道路や鉄道駅までの道路を改善する」が43.8%とH28年度に比べて7.0ポイント増加しています。



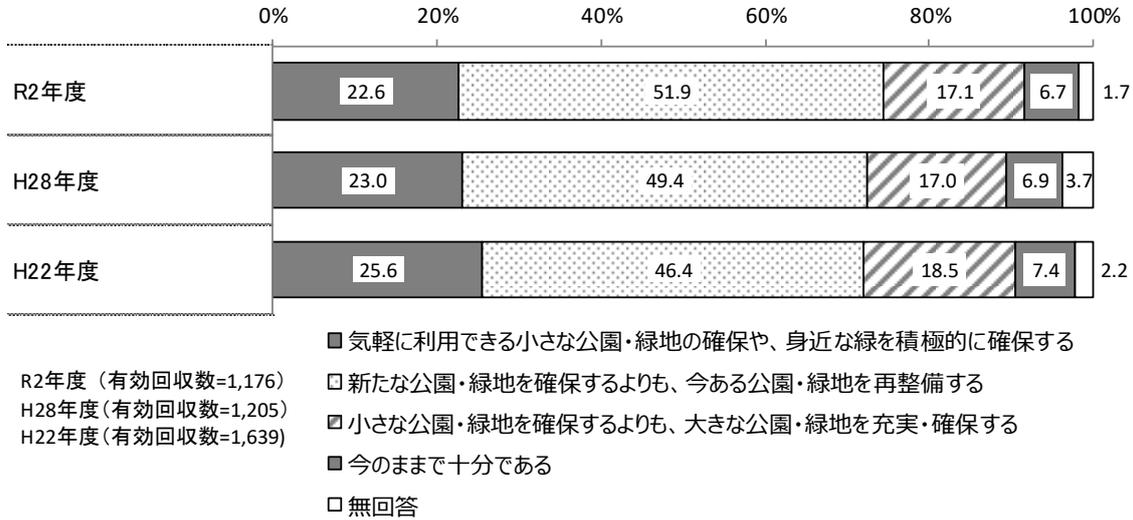
### (2) 交通施設の整備について (○は1つだけ)

いずれの調査時においても、「高齢化により、自動車を利用できない人も増えるので、公共交通機関の充実を進める」が約4割を占め最も高くなっており、特に大きな変化は見られません。



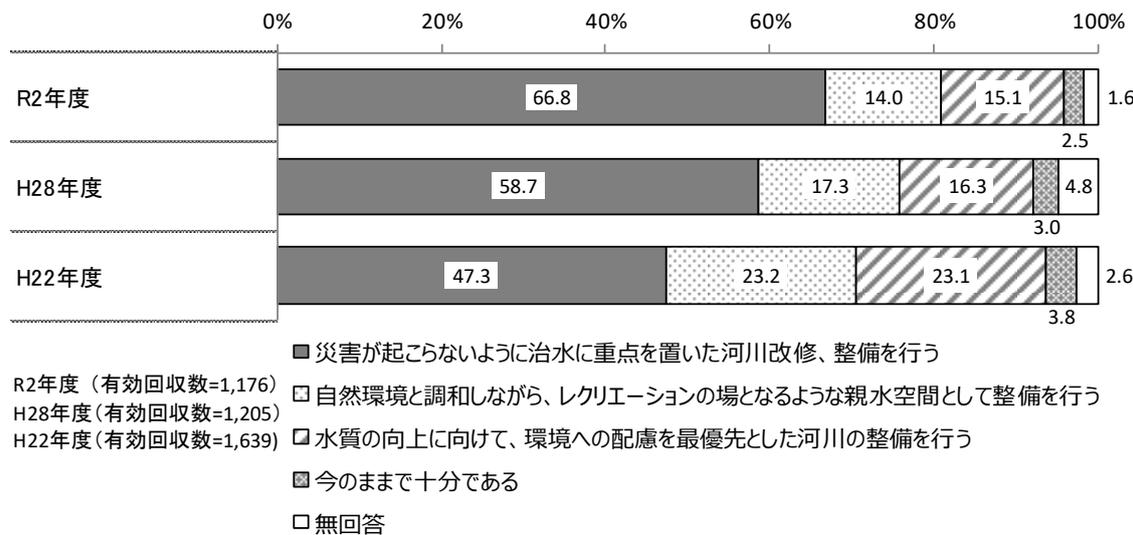
### (3) 公園・緑地などの整備について (〇は1つだけ)

R2年度は「新たな公園・緑地を確保するよりも、今ある公園・緑地を再整備する」が51.9%とH28年度に比べて2.5ポイント増加しています。



### (4) 河川などの整備について (〇は1つだけ)

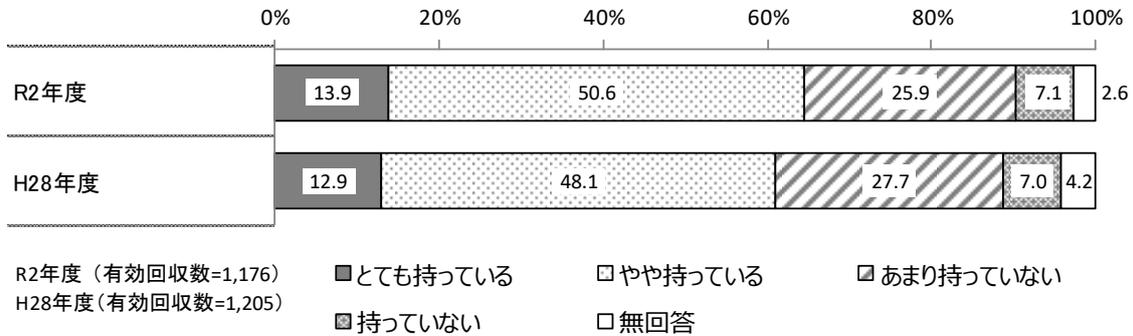
R2年度は「災害が起こらないように治水に重点を置いた河川改修、整備を行う」が66.8%とH28年度に比べて8.1ポイント増加しているのに対し、「自然環境と調和しながら、レクリエーションの場となるような親水空間として整備を行う」は3.3ポイント減少しています。



## 7 市の印象（イメージ）について

### 問 11 あま市に誇りや愛着を持っていますか。（○は1つだけ）

R2年度では、あま市に“誇りや愛着を持っている人”（「とても持っている」+「やや持っている」）は64.5%となっており、H28年度に比べて3.5ポイント増加しています。



### 問 12 あま市の良いところとして思い浮かぶものを具体的にお答えください。（場所、物、店など何でも結構です。）

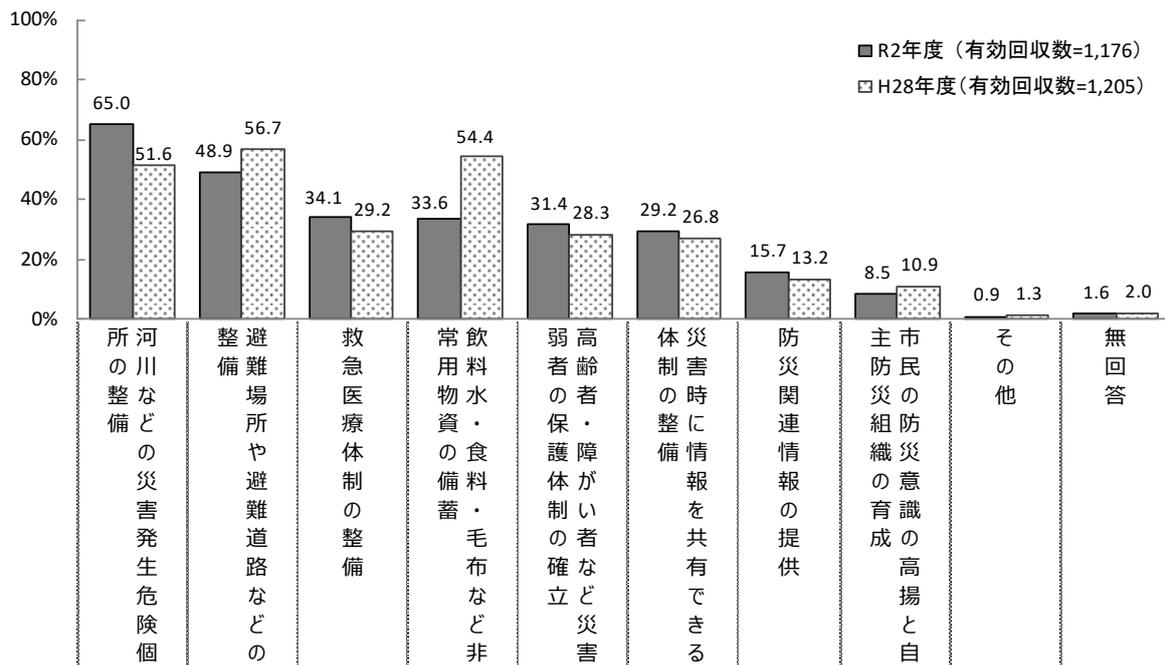
あま市の良いところとしては、名古屋までの交通アクセスの良さや買い物のしやすさに加え、自然豊かで静かなところ、七宝焼アートヴィレッジや甚目寺観音など、地域の歴史的・文化的な資産があげられています。

- 名古屋まで近い
- 名古屋駅に近いところ
- 高速のインターが近い
- 都会でもなく田舎でもなく住みやすい
- 自然豊かなところ
- 静かなところ
- 甚目寺観音
- 七宝焼アートヴィレッジ

## 8 防災について

**問 13 市の防災対策について、どの項目に一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(主なものを3つまで○)**

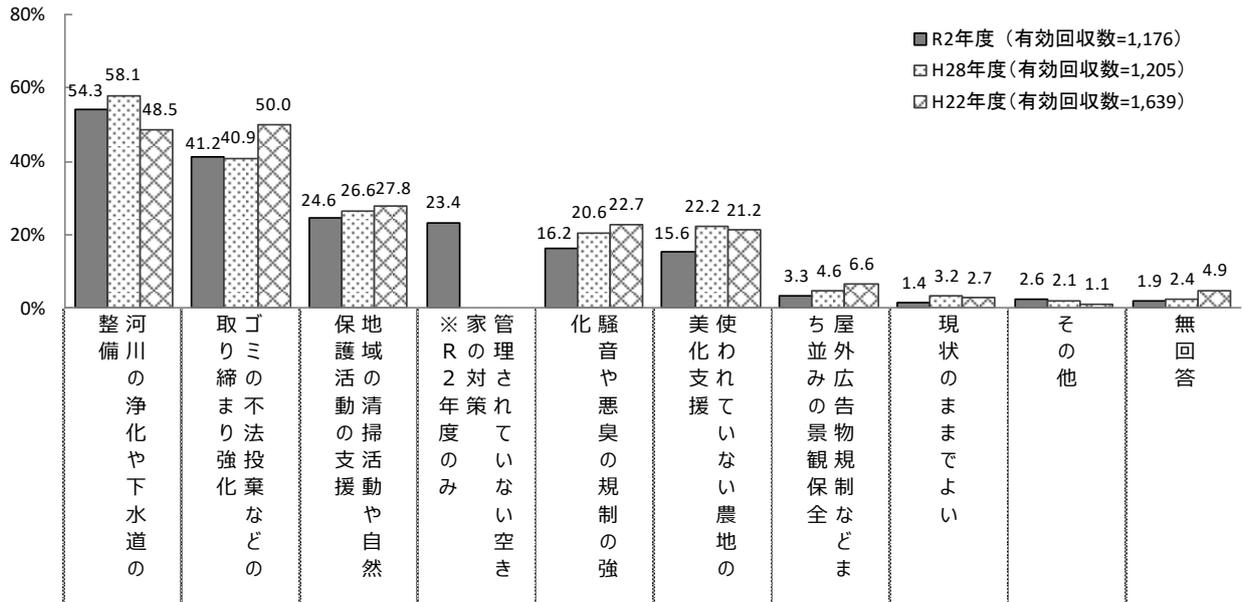
市の防災対策で一層力を入れて取り組むべき項目については、R2年度では「河川などの災害発生危険個所の整備」が65.0%と最も多くなっており、H28年度と比較して13.4ポイント増加しています。それに対し、「飲料水・食料・毛布など非常用物資の備蓄」や「避難場所や避難道路などの整備」は、それぞれ20.8ポイント、7.8ポイント減少しています。



## 9 生活環境について

**問 14 地域の自然環境や生活環境を美しくするため、どの項目に一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(主なもの2つまで○)**

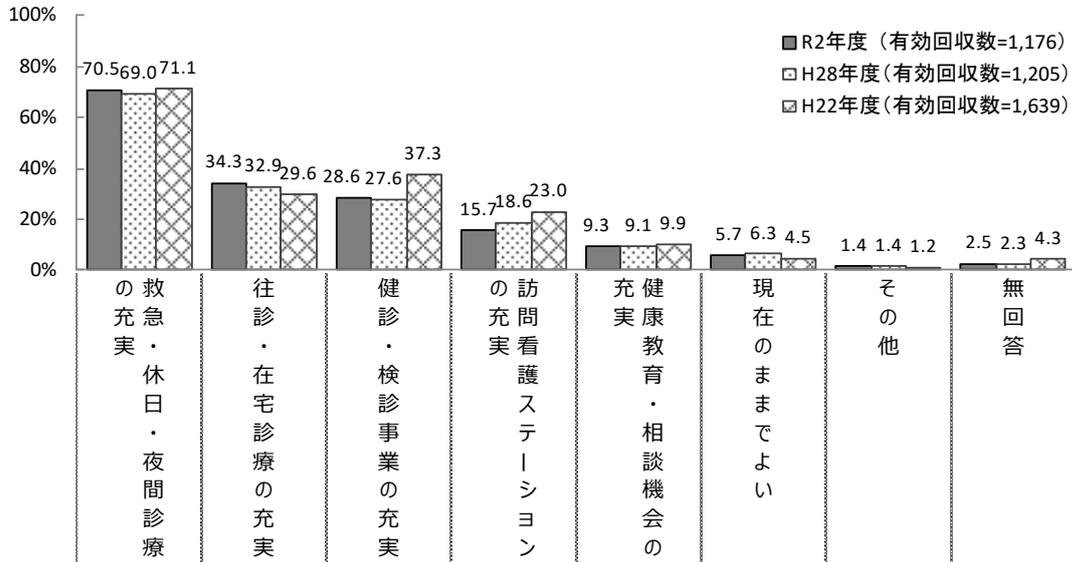
R2年度は H28 年度より割合が大きく増加した項目はみられませんでした。その一方で「使われていない農地の美化支援」「騒音や悪臭の規制の強化」「河川の浄化や下水道の整備」などが、それぞれ 6.6 ポイント、4.4 ポイント、3.8 ポイント減少しています。



10 健康、保健、医療、福祉について

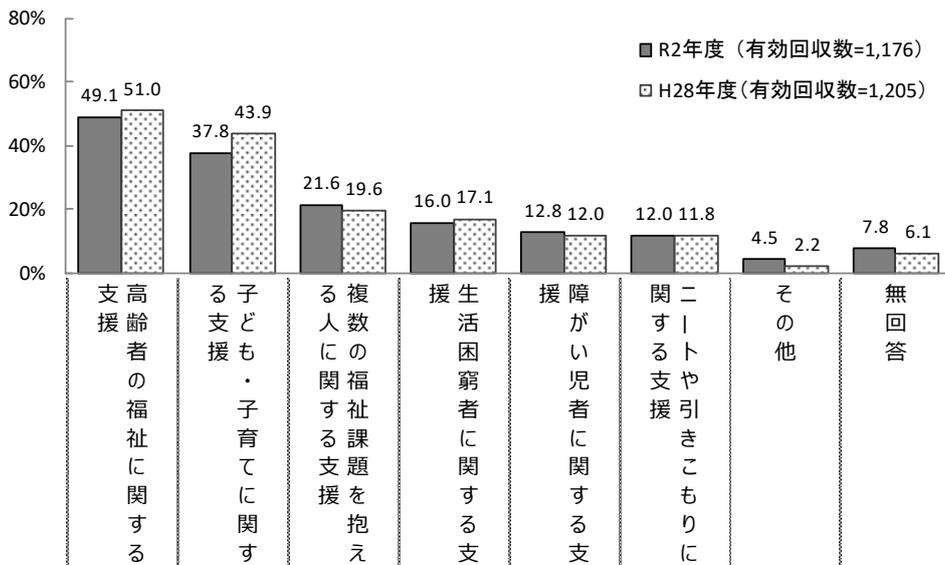
問 15 保健・医療対策について、どの項目に一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(主なもの2つまで○)

R2年度は「訪問看護ステーションの充実」が15.7%とH28年度に比べて2.9ポイント減少しています。



問 16 福祉対策について、特に支援が不足していると感じるものは何ですか。(主なもの2つまで○)

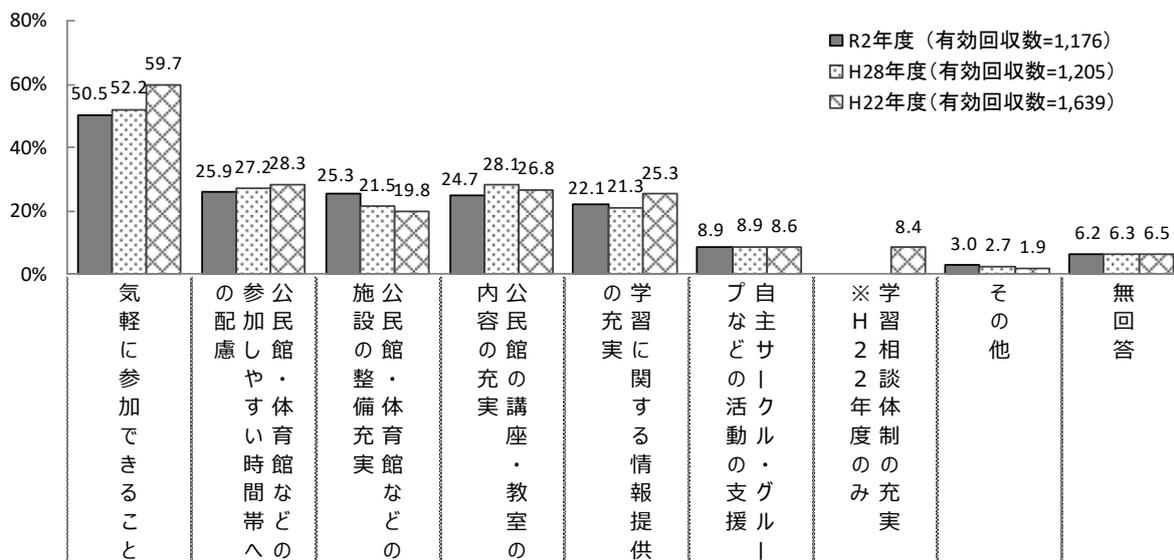
R2年度は「子ども・子育てに関する支援」が37.8%とH28年度に比べて6.1ポイント減少しています。



## 11 生涯学習、教育環境について

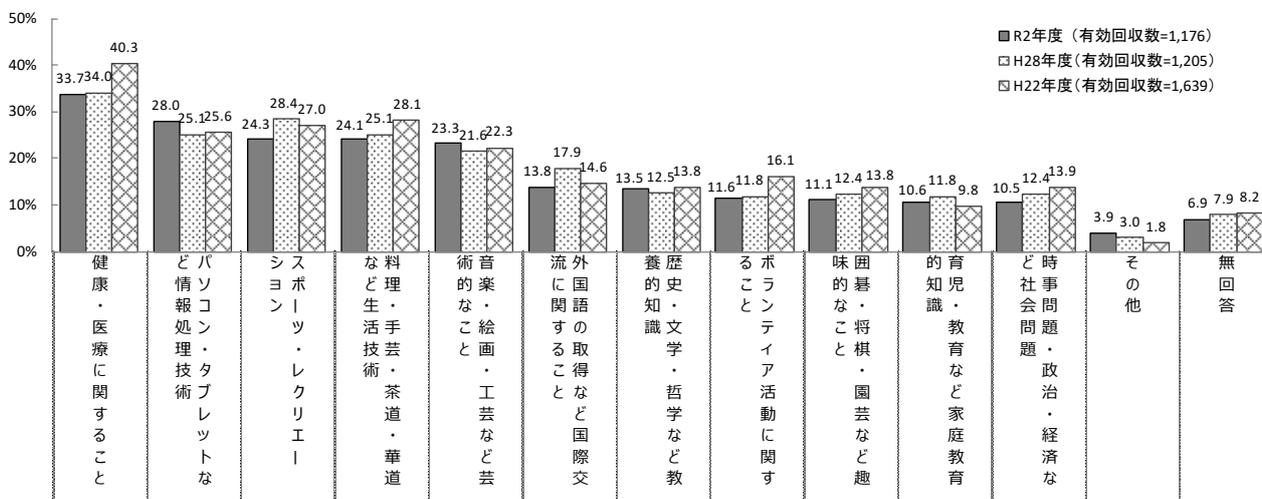
**問 17 生涯学習活動、スポーツ活動について、どの項目に今後一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(主なもの2つまで○)**

R2年度は「公民館・体育館などの施設の整備充実」が25.3%とH28年度に比べて3.8ポイント増加しているのに対し、「公民館の講座・教室の充実」は3.4ポイント減少しています。



**問 18 現在どのようなことを特に学んだり、参加してみたいと思われませんか。(あてはまるものすべてに○)**

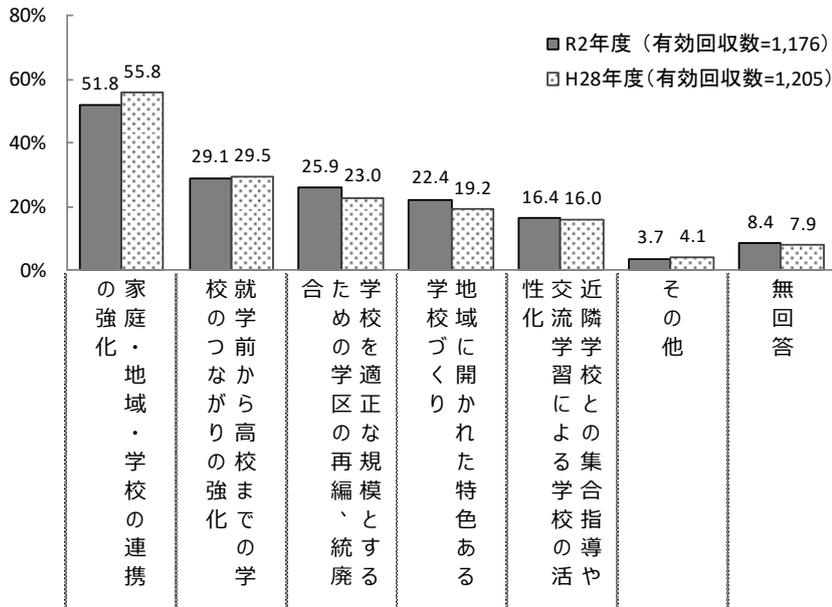
R2年度は「外国語の取得など国際交流に関すること」「スポーツ・レクリエーション」がH28年度に比べて4.1ポイント減少しています。



**問 19 学校について、特にどのようなことが必要だと思いますか。**

(主なもの2つまで〇)

R2年度は「地域に開かれた特色ある学校づくり」が22.4%とH28年度に比べて3.2ポイント増加しているのに対し、「家庭・地域・学校の連携の強化」は4.0ポイント減少しています。

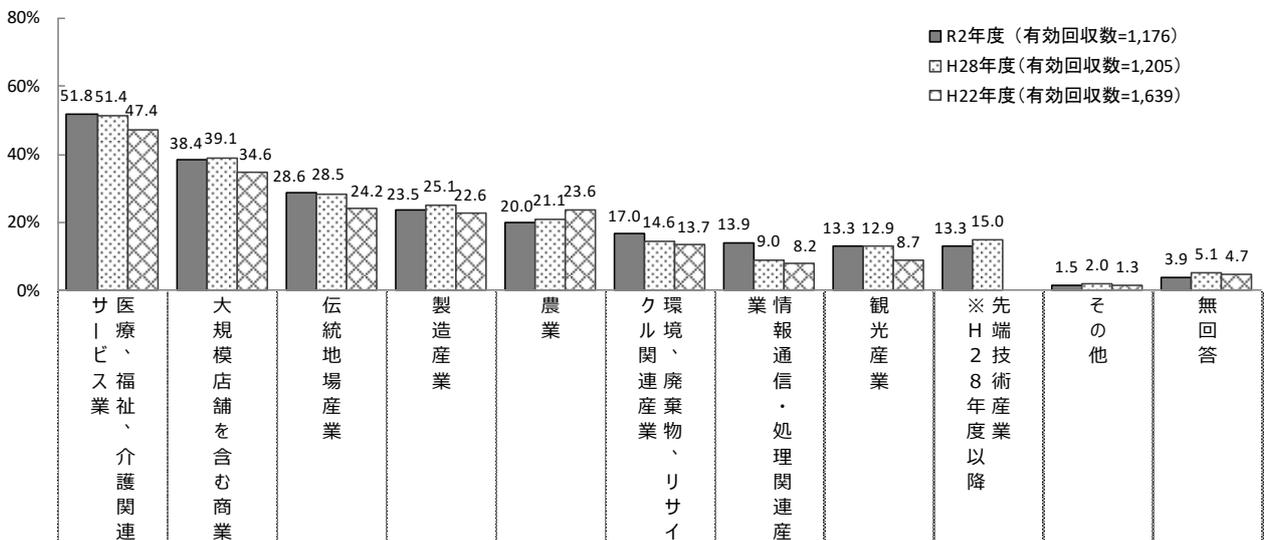


**12 産業振興について**

**問 20 これからのあま市は特にどのような産業を伸ばす必要があると思いますか。**

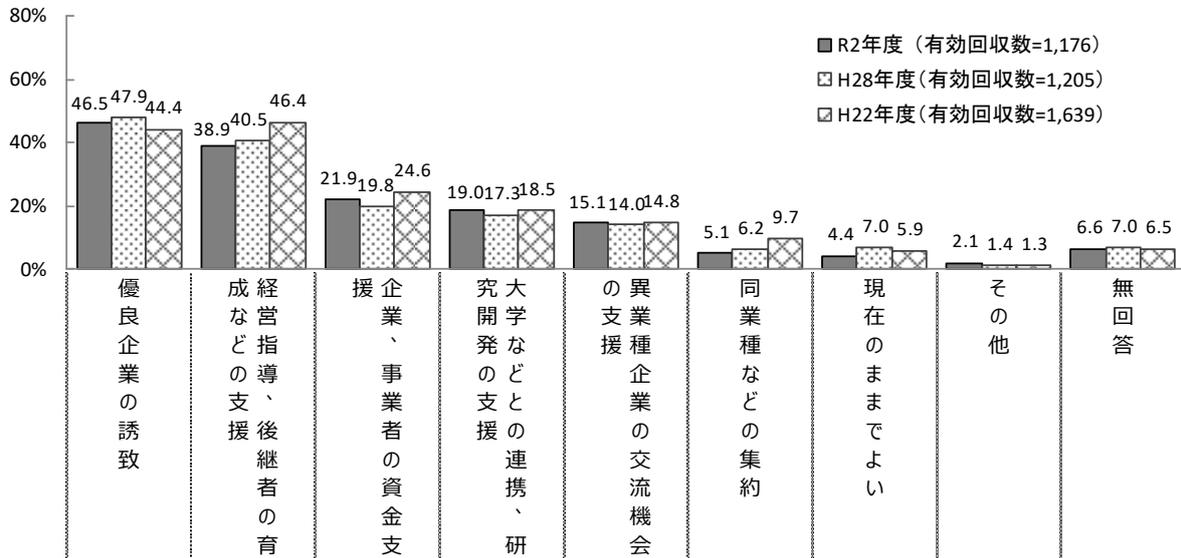
(主なもの3つまで〇)

R2年度は「情報通信・処理関連産業」が13.9%とH28年度に比べて4.9ポイント増加しています。



**問 21 産業を振興するために、特にどんなところに力を入れる必要があると思いますか。(主なもの2つまで○)**

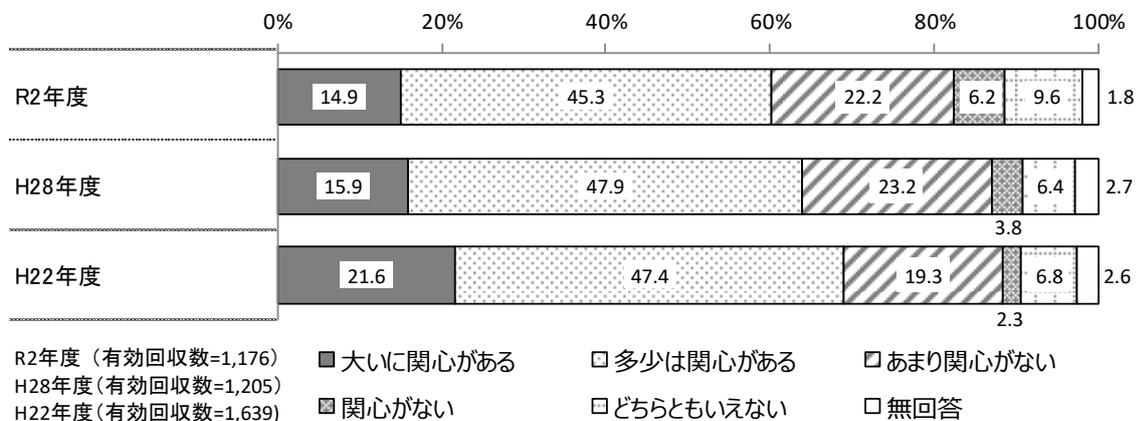
R2年度は「企業、事業者の資金支援」が21.9%とH28年度に比べて2.1ポイント増加しているのに対し、「現在のままでよい」は2.6ポイント減少しています。



**13 市政、行財政について**

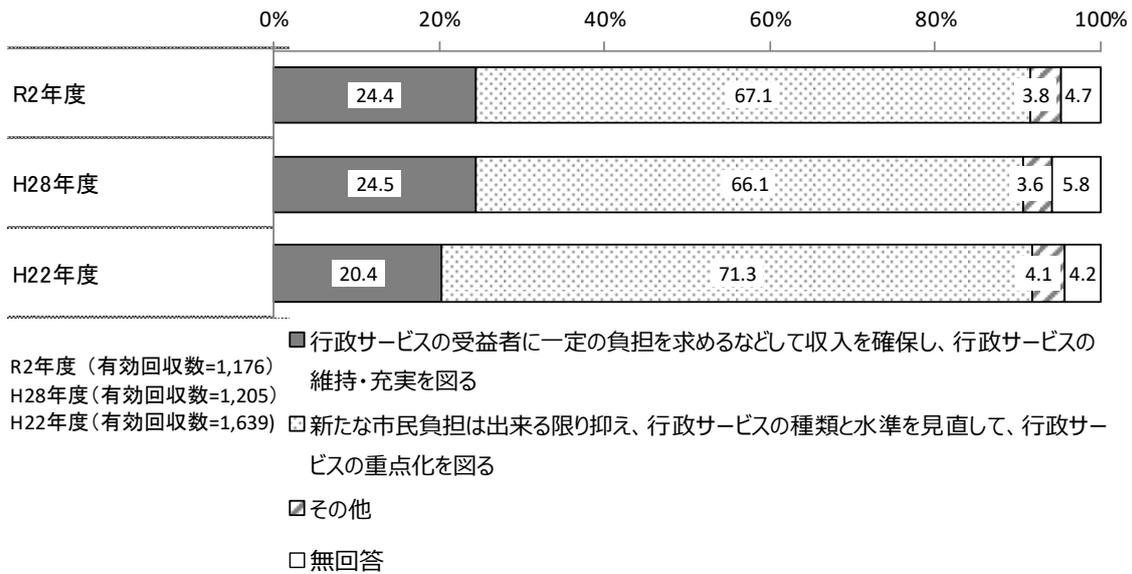
**問 22 市政について、どの程度の関心をお持ちですか。(○は1つだけ)**

R2年度では、“市政に関心がある人”（「大に関心がある」+「多少は関心がある」）は60.2%となっており、H28年度に比べて3.6ポイント減少しています。また、H22年度からの10年間では8.8ポイント減少しています。



**問 23 市の財政状況が厳しい中、行政サービスと市民負担のあり方についてどのようにお考えですか。（〇は1つだけ）**

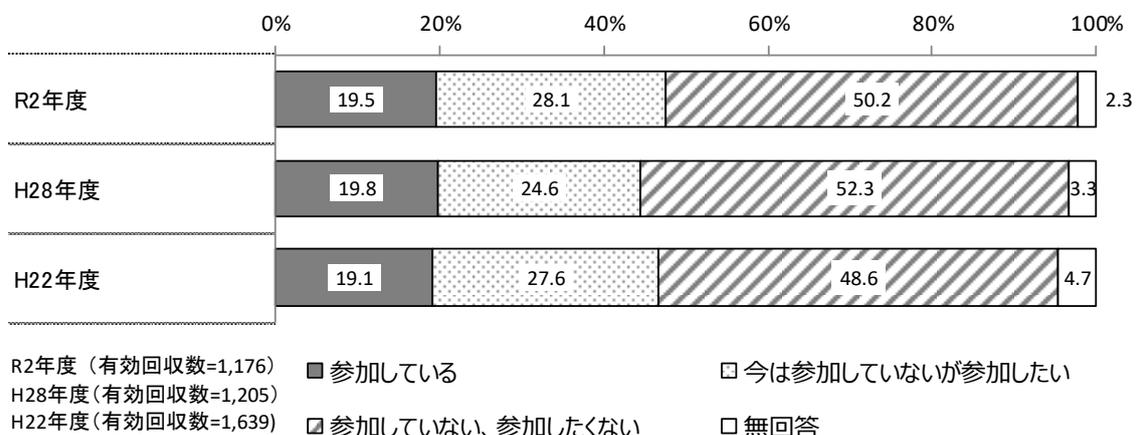
R2年度はH28年度に比べ大きく増加した項目はみられませんでした。また、H22年度からの10年間では「行政サービスの受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、行政サービスの維持・充実を図る」が4.0ポイント増加している一方で、「新たな市民負担は出来る限り抑え、行政サービスの種類と水準を見直して、行政サービスの重点化を図る」が4.2ポイント減少しています。



**14 地域活動の参加希望について**

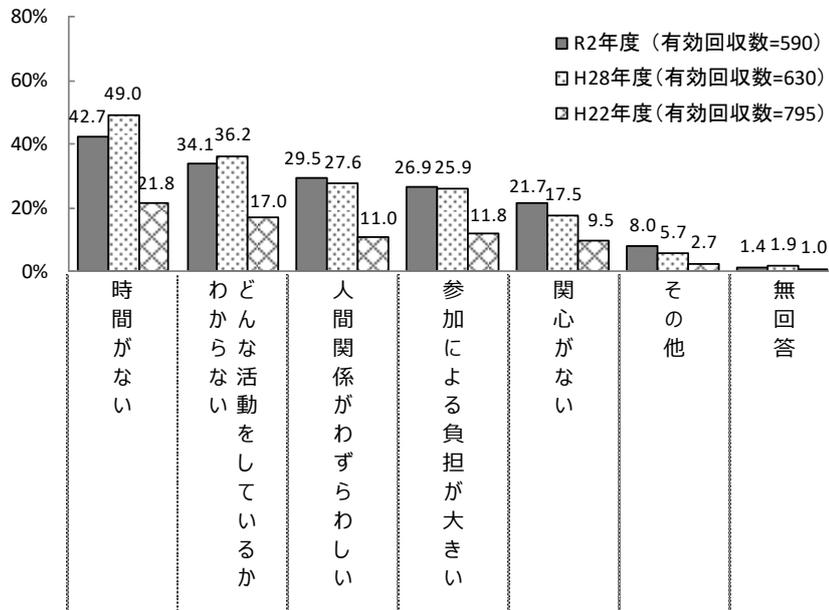
**問 24 あなたは現在、何らかの地域活動に参加していますか。参加希望も含めてお答えください。（〇は1つだけ）**

R2年度はH28年度に比べ「参加している」人に変化はみられないものの、「今は参加していないが参加したい」が28.1%とH28年度に比べて3.5ポイント増加しています。



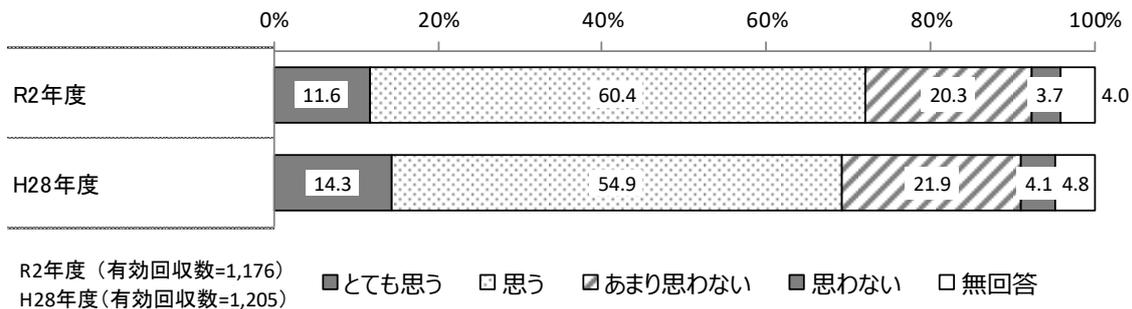
**問 24-1 参加したくない場合の理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。  
(あてはまるものすべてに○)**

R2年度は「関心がない」が21.7%とH28年度に比べて4.2ポイント増加しているのに対し、「時間がない」は6.3ポイント減少しています。



**問 25 あなたは、市民協働(※)が必要だと思いますか。(○は1つだけ)**

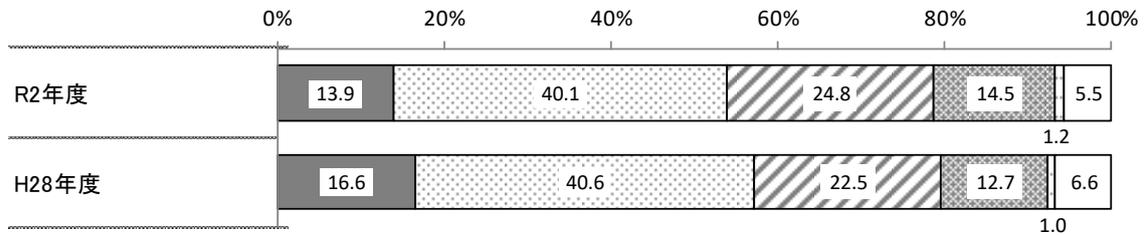
R2年度では、“市民協働の必要性を感じている人”(「とても思う」+「思う」)は72.0%となっており、H28年度に比べて2.8ポイント増加しています。



※ 市民協働とは  
同じ目的を実現するため、立場の違う  
市民や市が協力し、取り組むことです。

**問 26 今後まちづくりに市民や市民活動団体<sup>(※)</sup>はどのような方法に関わっていくことが望ましいと思いますか。(〇は1つだけ)**

R2年度は「市民や市民活動団体が主体となってまちづくりを行い、市は情報提供などの支援を行う」が13.9%と平成28年度に比べて2.7ポイント減少しているのに対し、「市が主体となり、市民や市民活動団体は一部協力する形でまちづくりを行う」が24.8%と2.3ポイント増加しています。

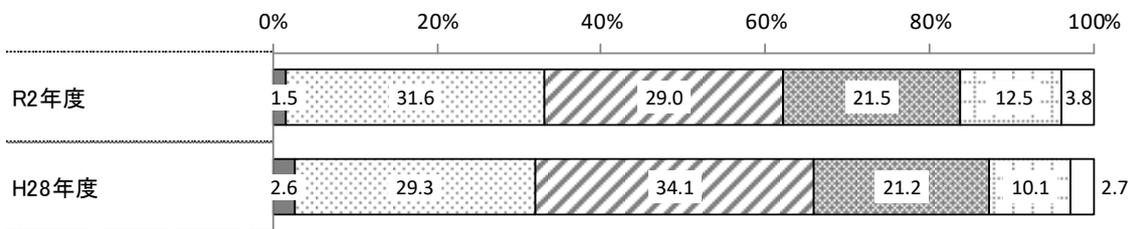


- R2年度(有効回収数=1,176) H28年度(有効回収数=1,205)
- 市民や市民活動団体が主体となってまちづくりを行い、市は情報提供などの支援を行う
  - 市民や市民活動団体、市がそれぞれの役割を決めて、一体となってまちづくりを行う
  - 市が主体となり、市民や市民活動団体は一部協力する形でまちづくりを行う
  - 市が主体となり、市民や市民活動団体は意見や要望を伝える形でまちづくりを行う
  - その他
  - 無回答

※市民活動団体とは  
営利を目的とせず、公益的な活動を  
自主的に行う組織のことです。

**問 27 市民活動団体が、ボランティアの募集をした場合、参加したいと思いますか。(〇は1つだけ)**

R2年度では、ボランティアへの“参加意向がある人”(「是非参加したい」+「自分の興味がある内容であれば、参加したい」+「都合が合えば参加したい」)は62.1%となっており、H28年度に比べて3.9ポイント減少しています。

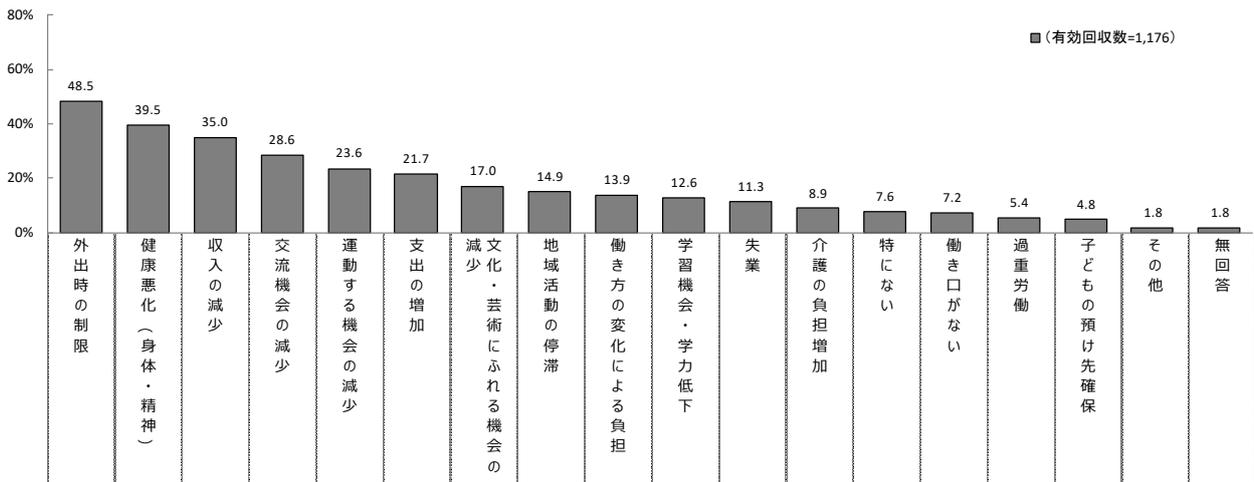


- R2年度(有効回収数=1,176) H28年度(有効回収数=1,205)
- 是非参加したい
  - 自分の興味がある内容であれば、参加したい
  - 都合が合えば参加したい
  - どちらかといえば参加したくない
  - 参加したくない
  - 無回答

## 15 新型コロナウイルス感染症について

**問 28 現在の新型コロナウイルス感染症の影響による生活における不安は何ですか。**  
(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による生活における不安については、「外出時の制限」が48.5%と最も多く、次いで「健康悪化（身体・精神）」が39.5%、「収入の減少」が35.0%、「交流機会の減少」が28.6%となっています。



**問 29 現在の新型コロナウイルス感染症の影響が今後も長く続いた場合に、充実してほしいと感じている施策やご意見などがありましたら、自由にご記入ください。**

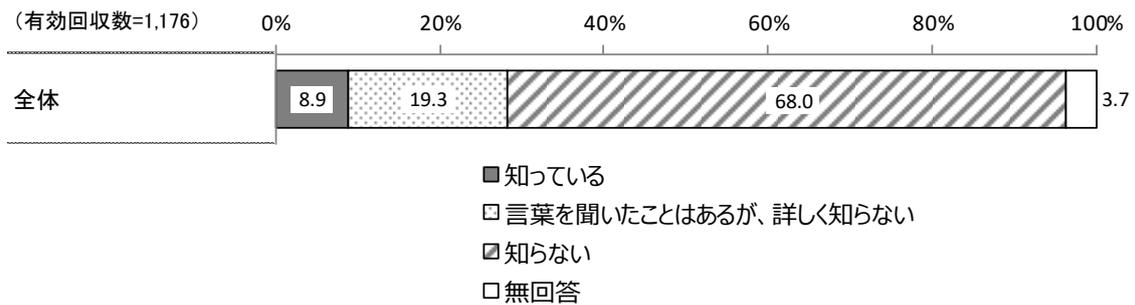
新型コロナウイルス感染症の影響が今後も長く続いた場合に、充実してほしいと感じている施策や意見については、無料のワクチン接種や PCR 検査の充実、病院の受け入れ体制、情報の積極的な公開、給付金や補助金の支給など、医療体制の充実や経済的支援に関する意見が多くあげられています。

- 無料のワクチン接種
- 情報の積極的な公開
- 補助金の拡充
- 給付金の支給
- PCR検査などができる病院施設の充実
- 医療機関の充実
- あま市民病院での受入体制

## 16 SDGsについて

### 問 30 SDGsについて知っていますか。(〇は1つだけ)

SDGsの認知については、「知らない」が68.0%と最も多くなっています。一方で、「知っている」(8.9%)と「言葉を聞いたことはあるが、詳しく知らない」(19.3%)を合わせた、SDGsの認知度は約3割(28.2%)となっており、内容まで認知している人は少なくなっています。



## 17 自由意見

あなたが考えるまちづくりのアイデアや、これからのまちづくりで重要だと思うこと、充実してほしいと感じている施策やご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

### 1)安全に関すること(防災、防犯、消防・救急体制など)

- 夜間暗い道には街灯を設置してほしい
- 防犯パトロールの充実
- 防犯カメラの設置場所を増やしてほしい
- 避難場所の整備と確保
- 大雨による河川の洪水が心配されるので河川の改修整備
- 救急体制などを強化してほしい
- あま市民病院をもっと救急の時に患者を受け入れられるようにしてほしい
- 空き家対策を強化してほしい

### 2)都市基盤に関すること(住環境、道路整備、環境保全など)

- 歩道を整備してほしい
- 道路の幅を拡張してほしい
- 道路の右折帯の確保
- 下水道の整備を早急にしてほしい
- 市バスの本数やルートの増加

### 3)福祉に関すること(保健・医療、子育て、高齢者福祉、障がい者福祉など)

- 障がい者雇用の充実
- 子どもが遊べる場所の整備
- 子育てに対する支援
- 高齢者に対するサービスの充実に努めてほしい
- 公園が少ないので増やしてほしい
- 救急医療の充実を図ってほしい
- あま市民病院は休日の対応等使いにくいので改善してほしい

#### 4)教育に関すること(学校教育、生涯学習、スポーツ、文化・歴史など)

- 図書館の充実
- 地域の歴史について学び見学する機会が欲しい
- 甚目寺の体育館の利用がにくい
- 子どもたちが安全に遊べる公園の整備
- オンライン学習の推進

#### 5)産業に関すること(商工業、農業、観光、地場産業など)

- 農業の後継者を育成
- 積極的な大企業の誘致
- 地場産業の保全、育成を行ってほしい
- 甚目寺観音の朝市を大々的に他市にもアピールするとよい
- 七宝焼の発展
- 観光の目玉のようなものを作っていただきたい
- 大型商業施設を誘致してほしい

#### 6)協働に関すること(まちづくりへの市民参画、交流など)

- 老若男女問わず、参加できるような交流会の開催
- まちづくりへの関心を持ってもらうためのイベントを定期的に行うこと
- 市のイベントを増やしてほしい

#### 7)上記以外でまちづくりに関すること

- 用水路沿いの雑草が放置状態になっているところもあり、整備してほしい
- 市内巡回バスの増発
- ゴミの投げ捨て、ごみ袋の放置が目立つので、町全体の美化を検討してほしい
- 子どもたちが遊べる公園の整備を強く希望します